

# 官報

## 號外 善和六年三月十日 貴族院議事速記録第二十九號

第五十九回  
帝國議會

昭和六年三月九日(月曜日)午前十時十九分  
開議

議事用稿 第二十九號  
昭和六年三月九日  
午前十時開議

第一 國務大臣ノ演説ニ關スル件(第  
二十三日)  
第二 請願委員長報告  
第三 摂當證券法案(政府提出、衆議院  
送付)  
第四 不動産登記法中改正法律案(政  
府提出、衆議院送付)  
第五 民事訴訟法申改正法律案(政  
府提出、衆議院送付)  
第六 競賣法中改正法律案(政府提出、  
衆議院送付)  
第七 民事訴訟用印紙法中改正法律案  
(政府提出、衆議院送付)  
第八 日本勸業銀行法中改正法律案  
(政府提出、衆議院送付)  
第九 農工銀行法中改正法律案(政  
府提出、衆議院送付)  
第十 北海道拓殖銀行法中改正法律案  
(政府提出、衆議院送付)  
第十一 國稅復收法中改正法律案(政  
府提出、衆議院送付)  
第十二 賽畜銀行法中改正法律案(政  
府提出、衆議院送付)  
第十三 沿岸漁業法中改正法律案(政  
府提出、衆議院送付)  
第十四 鮮易生命保險法中改正法律案  
(政府提出、衆議院送付)

第十五 寄生蟲病豫防法案(政府提出、  
衆議院送付)  
第十六 未成年者飲酒禁止法ノ改正法  
制定(反対ノ請願)  
第十七 級類摘精取締法制定(關スル  
請願)  
第十八 繩放者保護制度設定ノ請願  
第十九 名寄區裁判所張所設置ノ請  
願  
第二十 福島縣田村郡野田村ニ無集配  
郵便局設置ノ請願  
第二十一 北海道枝幸郡岬別村ニ漁業  
組合設置ノ請願  
第二十二 北海道頓別川河口改修ノ請  
願  
第二十三 岩手縣釜石港方開港ニ指定ノ  
稅關官署設置ノ請願  
第二十四 島根縣邑智郡長谷村ニ郵便  
局設置ノ請願  
第二十五 島根縣那賀郡大内村ニ無集  
配郵便局設置ノ請願  
第二十六 雪害ニ關シ市町村義務教育  
費國庫負擔法ノ施行命令改正ノ請願  
第二十七 島根縣篆川郡達塔村ニ無集  
配郵便局設置ノ請願  
第二十八 北海道石狩川架橋ノ請願  
第二十九 北海道江差、瀬棚間鐵道敷  
設ノ請願  
第三十 軍人傷殘試章令中改正施行ノ  
請願

第三十五 海外出漁獎勵ノ請願  
第三十六 漁業組合ノ指導施設改善充  
實ノ請願  
第三十七 機船底曳網漁業禁止區域取  
締ノ請願  
○調長(公爵徳川家達君) 是より書記官ヲ  
〔讀古書記官朗讀〕  
一昨七日本院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ  
出案ハ即ち之ヲ衆議院ニ送付セリ  
船舶積量測定法申改正法律案  
同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ  
〔讀古書記官朗讀〕  
昨日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ  
不動産登記法申改正法律案  
民事訴訟法申改正法律案  
競賣法申改正法律案  
民證券法案  
不動產登記法申改正法律案  
民事訴訟用印紙法中改正法律案  
日本勸業銀行法申改正法律案  
農工銀行法申改正法律案  
北海道拓殖銀行法中改正法律案  
國稅徵收法申改正法律案  
寄生蟲病豫防法案  
同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府  
提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨  
〔讀會議〕

○議長(公爵徳川家達君) 由程第一、請願  
委員長報告、清岡子爵  
〔子爵清岡長吉君演壇ニ登ル〕  
報告、即チ昭和六年二月八日ヨリ同ジタニ  
月廿日マヂノ御報告致シマズ、請願委員  
會議會開會ハ二月十三日、同ジク二十一日、同  
ジク二十七日、及ビ三月六日ノ四回ゴザ  
イマズ、請願委員分科會ハ總計十六回開會  
不ダシマシタ、之ヲ内譯イダシタルト、  
第一分科ハ二月十日、十六日、二十三日、同  
及ビ三月二日、同ジク四日ノ五回、第二分  
科ハ二月十日、十七日、二十四日、及ビ三月  
三日ノ四回、第三分科ハ二月十六日、同ジ  
ク二十三日、三月二日ノ三回、第四分科ハ  
二月十日、同ジク十七日、同ジク二十四日  
及ビ三月三日ノ四回ゴザリマズ、請願文  
書表報告ハ二月十二日、同ジク二十七日、及ビ三月  
六日ノ四回ゴザイマズ、請願書受領件數  
ジタ二十五日、三月四日ノ四回ゴザイマ  
ズ、請願委員會特別報告ハ二月十三日、同  
ジク二十二日、同ジク二十七日、及ビ三月  
六日ノ四回ゴザイマズ、請願書受領件數  
ベ二百五十九件、是方連署イタシテ唐リマ  
ス、請願委員會特別報告ハ二月十三日、同  
ジク二十二日、同ジク二十七日、及ビ三月  
六日ノ四回ゴザイマズ、請願書受領件數  
スル人名數ハ二十五万九千二百八名ゴザ  
イマズ、次ニ審査ノ經過及結果ヲ御報告イ  
ダシマス、第一回委員長報告ノ際、文書表  
未掲載件數が二十二件、第一回委員長報告  
後受領件數ハ二百五十九件、之ヲ合計イダシ  
マスルト、二百八十一件ゴザイマズ、而  
シテ此中請願文書表第三回、第四回、第五  
回、第六回ニ掲載イダシテ唐リマズル件數  
ハ二百二十一件、外ニ第一回委員長報告ノ  
際文書表ニ記載シダルモノノ申、審査未了

ニ屬スルモノ八十七件、之ヲ合計イタシマシテ三百八件デアリマス、此結果院議ニ付スペシト議決シタルモノ、即チ探擇方九十六件、及ビ院議ニ付スルヲ要セズト議決シタルモノ、即チ不採擇ガ十二件、而シテ此十二件ハ文書表ノ第十七號、第二十號、第二十五號、第五十號第五十八號、第八十二號、第八十三號、第九十六號、第二百二十號、第二百五十二號、第二百九十四號、第二百三號ノ十二件デゴザリマス、其他審査未了ノモノガ二百件デゴザイマス、尙ホ請願文書表ニ未ダ掲載ニ至ラザルモノガ六十件ゴザイマス、以上ハ昭和六年三月七日午後四時締切迄ノ御報告デゴザリマス

○赤池濃君

私ハ皆サンノ御許シヲ得マシテハ外務大臣ニ對シテ緊急質疑ヲ致シタイト思ヒマス、御許シヲ願ヘレバ仕合セデゴザイマス（多數）

過半數ト認メマス、赤池君ノ登壇ヲ望ミ

○赤池濃君（演壇ニ登ル）

ニハ賛成者ヲ要シマスガ……

○議長（公爵德川家達君）

赤池君ノ御要求ヲ  
（贊成ト呼フ者アリ）

○議長（公爵德川家達君）

赤池君ノ要求ヲ  
（赤池濃君演壇ニ登ル）

マス（赤池濃君演壇ニ登ル）

○赤池濃君

茲ニ皆サンノ御同意ヲ得マシテ、外務大臣ニ對シテ緊急質疑ヲ致シマスノハ、餘ノ儀デハゴザイマセヌ、本月六日ノ上海電報ハ、支那ノ東北交通委員會代表ノ言ト致シマシテ、實ニ驚クベキコトヲ我我ニ報道シテ來タノデゴザイマス、右代表者ハ今回奉天ニ於テ協議サレツツアリマスル所ノ日支交渉ニ關シテ、凡ソ左ノヤウナ意味ノ事ヲ語タノデゴザイマス、此交渉ニ付テハニツノ原則ヲ先ツ必要トスルシダ、其ツハ日本ガ支那ニ於ケル所ノ特殊ノ権益ハ、合法タルト非合法タルト問ハズ、日本側ニ於テ完全ニ之ヲ放棄スルト云フコ

トヲ聲明セラルベキコトデアルンダト、ソレカラ第二ハ經濟的性質ヲ有スル問題ハ、此二ツノ條件ヲ本村理事ガ承認シナイ場

合ニ於テハ、東北側……即チ滿洲側デアリ

トヲ聲明セラルベキコトデアルンダト、ソ

コトガ出來ナイモノガ多イ、或ハ不穏ノ言

葉ヲ弄シマシテ、或ハ不當ノ行動ヲ致シマ

テ、條約ヲ無視シ權利ヲ侵害スルコトガ

甚ダ少ナクナインデアリマス、殊ニ滿洲關係ニ於テ最モ甚シイノヲ見ル次第デアリ

マス、現ニ滿鐵ノ如キモノハ、今日支那人

吉會鐵道ハ……吉會鐵道トハ會寧ニ行ク

鐵道デアリマス、吉會鐵道ハ大規模ノ經

濟侵略ヲ實行セムトスルモノニアルカラシ

テ、是ニハ反対スル、斯カ云コトヲ述べ

タサウデアルノデアリマス、此言タル實ニ

國際信義ヲ無視シテ居リマスルシ、我國ヲ

輕蔑シタルノ甚シイモノニアリマスルノミナ

ラス、我國ノ條約上ノ權利ヲ根柢カラシテ破

壊シ、我國人ヲシテ滿洲カラ驅逐セシメム

トスル所ノ意思ヲ表示シタルモノト思ハレ

ルノデアリマス、故ニ此言葉ハ輕々ニ看過

スペキモノナイト考ヘマスルガ故ニ、茲

ニ幣原外相ノ御所見ト之ニ對スル所ノ處置

ヲ御尋ねシタイト思フノデアリマス、最近

又承ハリマスルト云フト、支那ハ我國ニ對

シテ債務ノ中カラシテ一億九千萬元ヲ割引

シテ貴ヒタイト云フ要求ヲ出スト云フ噂モ

アリマス、又滿鐵沿線竝ニ滿鐵附屬地ニ於

ケル我ガ郵便ノ撤退ヲ要求スルト云フ噂

モ、電報デ以テ承知イタシタノデアリマス、

塞ニハ漢口蘇州其他ノ居留地ノ……租界ノ

演說ニ於テ支那ニ於テ「我南滿洲鐵道ノ

地位ヲ危クセントスルガ如キ計略ガアリ得

ベキモノトハ信ゼラレマセヌ、又斯カル企

テガ容易ニ實現シ得ラルモノハアリマ

セヌ」ト、斯カ云ハレタルコトニ付キ

スルガ、我ミハ斯ク言ハレタルコトニ付キ

マシテハ、外務大臣ハ必ズヤ強キ信念、十

分ナル所ノ御成算アツテノコトダト思フノ

シテアリマス、我ミハ今日支那就中滿洲ノ狀

況ヲ見テ、色ニ憂患ニ堪ヘナイン所ノコトガ

アリマスルモノニアリマスルカラシテ、此

東北交通委員會ノ代表者ノ言ヲ聞キマシ

テ、少ナカラズ憂慮ニ堪ヘナインモノガアル

ノデアリマスルカラシテ、此際外務大臣ノ

御忌憚ノナイ御意見ヲ茲ニ承ハルコトガ出

來ルナラバ仕合セト存ジマシテ、此質問ヲ

致シタ譯デアリマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登

ル〕

○國務大臣（男爵幣原喜重郎君）

只今ノ赤

池君ノ御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、只今赤ガ一日モ早ク秩序ヲ恢復シ、又國力能ク發相當ノ援助ヲ與ヘルコトニ寄カナラザルモノデアリマスケレドモ、不當ノ要求ヲ致

達繁榮スルヤウナコトハ、是ハ何處マデモ風説デハナクシテ、必ズ近い中ニ事實ニナテ現ハレルダラウト考ヘル次第デアリマス、我ミハ善隣ノ誼ミニ依リマシテ、支那

池君ガ仰セラレシタル如キ東北交通委員會ノ都恩元氏ノ談トシテ新聞ニ現ハレテ居リマシタコトハ、私モ承知イタシテ居リマス、其新聞ノ電報ニ依リマスルト云フト、支拂ハナイト云フコトヲ支那ガ意見ヲ持テ居ルト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ恐

ラクハ今現ニ行ハレツツアリマス所ノ不確實債務ノ整理ノ問題ニ關シテ、斯様ナル議論ヲ支那ノ中デ爲ス者ガアルノデアラウト考ヘマス、大體ニ於キマシテ不確實債務ノ整理ノ問題ハ只今非公式交渉ノ程度デアリマシテ、何等纏マックモノハナイノデアルケレドモ、大體ニ於キマシテ支那ノ提案ハ、必シモ日本ノ方デ考慮ヲシ得ラレナイト云フヤウナ提案デナインデアリマス、是等ノコトニ付キマシテハマダ總ベテ未確定ノコトデアリマスルカラ申上ゲ兼ネマスルケレドモ、理由ナクシテ日本ニ對シテ負フテ居ル債務ヲズカリ免レテ或ハ勝手ニ減額ヲスルト云フヤウナコトハは行ハレルモノデアリマセヌ、不確實債務ノ整理ノ問題ヲ決定イタシマスニ付キマシテハ、ドウシテモ兩國ノ間ニ交渉ガアリ、或ル意見ノ一致ト云フモノガナケレバナラヌノデアリマステ、是モ支那ガ不當ナル要求ヲ致シマスコトハ出來ナインデアリマス、ソレカラ滿鐵ノ附屬地ニ於ケル郵便局ノ撤廢ノ問題ヲ御聽キニナクノデアリマスガ、是亦歴史ノアル問題デアリマシテ、我ミハマダ何等斯タル要求ニハ接シテ居ナインデアリマス、併ナガラ是ハ只今申シタ如ク歴史ノアル問題デアリマスカラ、我ミハ其歴史ヲ考ヘテ、若シスカル要求ガアリマス場合ニハ、適當ニ之ヲ善處スル覺悟ヲ持テ居リマスケレドモ、マダ何等要求ニ接シテ居リマセヌカラ、具體的ニ如何ナル方針ヲ以テ之ニ交渉イタスカト云フコトニ付テハ申上ゲルコトハ、大體御答ヘ申シタイト思ヒマスガ、尙ホ念ノ爲ニ附加ハテ置キマスコトハ、只今滿鐵ニ關スル問題ニ付テ東三省側ト、滿鐵ノ木村理事ノ間ニ於テ種々ノ事項ニ關シテ非公式ノ交渉ヲ行ッテ居リマス、懇談ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、其結果ニ付其交渉ノ一端ニ付テ、支那側ノ方デ日本ト相談ノ上デ發表イタシタモノガアリマ

ス、ソレニ依リマスルト、今後ノ懇談ニ關スル雙万ノ態度、精神ニ關シテ世間ノ疑惑ヲ避ケル爲ニ左ノ點ニ關シテ兩者ノ間ニ意見ノ一致ヲ見タト云フコトヲ申述ベマシテ、其意見ノ一致セル點ヲ新聞紙ニ發表いたシテ居リマス、即チ今後ノ話合ハ所謂外交的トカ、政治的トカ重ミシキ形式ヲ取ル交渉卽チ談判ヲ避ケテ、寧ロ實際的ノ見地カラ非公式ノ懇談又ハ商議ノ形式トスルコト、第二ニハ日支互ニ腹藏ナク率直ニ意見ヲ交換スルコト、相互ノ立場ヲ尊重スルコト、其存共榮ノ解決案ニ到達スルコトニ相互通ニ努力シ、之ヲ天下ニ發表スルモ何等恥ブルコトナキ公改正大ノ解決案ニ達スルコトニ盡力スルコト、此精神ニ依テ友誼的商議ヲ爲スコト、第三ニ以上ノ形式精神ニ基イテ懇談ノ結果解决可能ナルヤ否ヤ各問題ニ付キ検討スルコト、此三ツノ點ヲ公表イタシテ居リマス、併ナガラ只今申シタル如ク此交渉ガ全ク非公式ノ懇談デアリマスカラ、此具體的ノ問題ニ付テ世間ニハマダ日本ガ此機會ニ於テ大イナル要求……支那發表サレテ居ナインデアリマスノデ、支那ノ各方面ニ於テハ多少不安ノ念ヲ持テ居リマス、誤解ヲ懷イテ居リマス、從々何カラシテ不當ナ權利ノ侵害若クハ條約ノ蹂躪シテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、私ハ東三省ノ人ハ隨分帝國ノ立場ヲ諒解ゼズ、サウシテ不當ナ權利ノ侵害若クハ條約ノ蹂躪シテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、私ハ東三省ノ當局者ハ日本ノ公平ナル立場ヲ諒解シテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、私ハ東三省ノ人ハ隨分帝國ノ立場ヲ諒解ゼズ、ザイマスガ、獨リ當局バカリデハナニ、支那ノ國民ノ中ニ於テ大分サウ云フ者ガアルト云フコトヲ考ヘテ居ル者デアリマスガ、之ニ對スル外務大臣ノ御意見ガ、ドウデアリマスカ、此點ヲ伺ヒタイト

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマスノ要求ニ對シテハ断乎トシテ拒絕スルト云フ所ノ御話ヲ承リマシテ、私ハ非常ニ満足ヲ致ス者デアリマス、帝國ノ態度トシテハ斯クナラザルベカラザルモノト深ク考ヘル次第デアリマス、此點ニ付テハ外相ノ御聲明ヲ得タコトヲ喜び次第デアリマス、就キマシテハ、今ノ満鐵交涉ニ關スル御話ノ中ニ、簡單ナ覺書ヲ取交ハシタト云フヤウニ同ヒマシタガ、其中ニ讓ルトカ讓ラヌトカ云フ御話ニナクノデゴザイマスガ、左様ナコトガアルカドウカ、條約上ノ權利ヲ譲ルニ付テハ相當然ルベキ理由ガナケレバ溢リニ讓ルコトハ出來ナイト思フノデアリマスガ、ドウ云フ點ナノデゴザイマスカ、尙又コトガアルカドウカ、條約上ノ權利ヲ譲ルニ付テ、何等ノコトハ無イノデアリマス、ソレカラ最後ニモウ一黠何カ御聽キニナリマシタガ、チヨット失念イタシマシタガ……

○赤池灘君 支那ガ條約ヲ踩踏イタシマシテ、條約ヲ無視イタシマシテ權利ヲ侵害スルコトガ澤山アルト思ヒマス、尙又日本ニ對シテ友誼のデナイ所方澤山アルト思ヒマスガ、此點ニ付テ伺ヒタイ

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 了解イタシマシタ、私が先刻申シマシタノハ此木村理事ノ只今ノ交渉シテ居リマス、或ハ懇談ト申シテ宜イカ、懇談ヲ致シテ居リマスル、其日本側ノ申出ニ付キマシテ東三省側ニ於テ誤解ハナイ筈デアルト私ハ申シタノデアリマス、支那ノ主權ヲ侵害スルトカ云フヤリマス、其點ニ付キマシテハ支那ノ當局者ニ於テ何等誤解ナイ筈デアル、又誤解イタシテ居ラスト云フコトヲ申シタノデアリマス、木村理事ガ其話ヲ始メマスク前ニ於キマシテハ、日本ノ方デ非常ナ高壓的ナ要求モ致スノデヤナイカト云フ疑ラ懷イテ居タヤウデアリマスケレドモ、木村理事ガ篤ト自分ノ意見ヲ説明イタシマスルト、向ウノ方モ誤解イタシマシテ、サウ云フコトデアルナラバ宜シク懇談ヲ致スコトニ何等異議ナシ、懇談イタシサウト云フコトニ決マッタノデアリマシテ、日本側ノ公正ナル態度ヲ向ウ側ニ於テモ十分諒解イタシテ居ル筈デアルト云フコトニナリマシテ、發表イタシタノ成リマシタ、斯クノコトヲ發表シヤウト云フコトニナリマシテ、發表イタシタノコトニナリマス、何等覺書ヲ取交ハシタト云フ



ガ、此全體會議ニ於テ決議サレタカラデアリマス、其執監委員全體會議ニ於テ決議シタ中ニ於テハ、千九百三十一年度ノ外交方針ノ決定ト云フ所ノ項目ガアリマス、其項目ノ中ニハ所謂外交方針ナルモノハ第一ハ治外法權撤廢ノ速行デアル、第二ハ租界ノ回収デアル、第三ハ外國軍隊ノ撤退、斯ウ云アツノコトガアルノデアリマス、而モ此三ヶ條ハ本年ノ五月ニ開カレル所ノ國民會議マヂニ何トカ埠ヲ明ケルト云フヤウナ威メ段取リニナッテ居ル譯デアリマス、斯ノ如キコトガ執監全體會議ニ於キマシテ決議サレテ居ルノデアリマス、此決議ヲ見マスルト云アト、丁度王正廷氏ガ言ハムトスル所ノ理由が能ク分ルノデアリマス、漫然王正廷氏ガサウ云ア風ナコトノ極端ナ言葉ヲ掛シタドハ思ハレマセヌノデアリマス、尙又斯タ言タラウト思アトハ外デモアリマセヌ、王正廷氏ハ二月十三日ニ上海著ヲ集メテ、其中デ以テ演説フシタコトが有ルノデアリマス、其演説ハ皆様モ御承知ダト思ビマスケレドモ、念ノ爲ニ茲デ讀ンマジエスティックホテル」ニ内外新聞記者ヲ集メテ、其中デ以テ演説フシタコトがアルマス、一昨年ノ末ニ國民政府ハ命令ヲ以テ昨年ノ元旦カラシテ領事裁判權ヲ廢止ト云フ旨ヲ公布シタガ、友誼上列國ニ若シ支那ノ辦法ニ對シ異見ガアッタナルバアリマス、昨年ノ期間内ニ異見ヲ提議スペシト云アゴトヲ通ジタケレドモ、其期間ハ十三ヶ月を経過シタ今日ニ於テ未ダ具體的解決ヲ

アル、尙ホ特ニ注意スベキハ此惡制度ノ束縛ヲ受ケルモノハ支那一國デアル、依テ政治外法權撤廢ノ速行デアル、第二ハ租界ノ回収デアル、第三ハ外國軍隊ノ撤退、斯ウ云アツノコトガアルノデアリマス、而モ此三ヶ條ハ本年ノ五月ニ開カレル所ノ國民會議マヂニ何トカ埠ヲ明ケルト云フヤウナ威メ段取リニナッテ居ル譯デアリマス、斯ノ如キコトガ執監全體會議ニ於キマシテ決議サレテ居ルノデアリマス、此決議ヲ見マスルト云アト、丁度王正廷氏ガ言ハムトスル所ノ理由が能ク分ルノデアリマス、漫然王正廷氏ガサウ云ア風ナコトノ極端ナ言葉ヲ掛シタドハ思ハレマセヌノデアリマス、尙又斯タ言タラウト思アトハ外デモアリマセヌ、王正廷氏ハ二月十三日ニ上海著ヲ集メテ、其中デ以テ演説フシタコトが有ルノデアリマス、其演説ハ皆様モ御承知ダト思ビマスケレドモ、念ノ爲ニ茲デ讀ンマジエスティックホテル」ニ内外新聞記者ヲ集メテ、其中デ以テ演説フシタコトがアルマス、一昨年ノ末ニ國民政府ハ命令ヲ以テ昨年ノ元旦カラシテ領事裁判權ヲ廢止ト云フ旨ヲ公布シタガ、友誼上列國ニ若シ支那ノ辦法ニ對シ異見ガアッタナルバアリマス、昨年ノ期間内ニ異見ヲ提議スペシト云アゴトヲ通ジタケレドモ、其期間ハ十三ヶ月を経過シタ今日ニ於テ未ダ具體的解決ヲ

アル、尙ホ特ニ注意スベキハ此惡制度ノ束縛ヲ受ケルモノハ支那一國デアル、依テ政治外法權撤廢ノ速行デアル、第二ハ租界ノ回収デアル、第三ハ外國軍隊ノ撤退、斯ウ云アツノコトガアルノデアリマス、斯ノ如キコトガ執監全體會議ニ於キマシテ決議サレテ居ルノデアリマス、此決議ヲ見マスルト云アト、丁度王正廷氏ガ言ハムトスル所ノ理由が能ク分ルノデアリマス、漫然王正廷氏ガサウ云ア風ナコトノ極端ナ言葉ヲ掛シタドハ思ハレマセヌノデアリマス、尙又斯タ言タラウト思アトハ外デモアリマセヌ、王正廷氏ハ二月十三日ニ上海著ヲ集メテ、其中デ以テ演説フシタコトが有ルノデアリマス、其演説ハ皆様モ御承知ダト思ビマスケレドモ、念ノ爲ニ茲デ讀ンマジエスティックホテル」ニ内外新聞記者ヲ集メテ、其中デ以テ演説フシタコトがアルマス、一昨年ノ末ニ國民政府ハ命令ヲ以テ昨年ノ元旦カラシテ領事裁判權ヲ廢止ト云フ旨ヲ公布シタガ、友誼上列國ニ若シ支那ノ辦法ニ對シ異見ガアッタナルバアリマス、昨年ノ期間内ニ異見ヲ提議スペシト云アゴトヲ通ジタケレドモ、其期間ハ十三ヶ月を経過シタ今日ニ於テ未ダ具體的解決ヲ

アル、尙ホ特ニ注意スベキハ此惡制度ノ束縛ヲ受ケルモノハ支那一國デアル、依テ政治外法權撤廢ノ速行デアル、第二ハ租界ノ回収デアル、第三ハ外國軍隊ノ撤退、斯ウ云アツノコトガアルノデアリマス、斯ノ如キコトガ執監全體會議ニ於キマシテ決議サレテ居ルノデアリマス、此決議ヲ見マスルト云アト、丁度王正廷氏ガ言ハムトスル所ノ理由が能ク分ルノデアリマス、漫然王正廷氏ガサウ云ア風ナコトノ極端ナ言葉ヲ掛シタドハ思ハレマセヌノデアリマス、尙又斯タ言タラウト思アトハ外デモアリマセヌ、王正廷氏ハ二月十三日ニ上海著ヲ集メテ、其中デ以テ演説フシタコトが有ルノデアリマス、其演説ハ皆様モ御承知ダト思ビマスケレドモ、念ノ爲ニ茲デ讀ンマジエスティックホテル」ニ内外新聞記者ヲ集メテ、其中デ以テ演説フシタコトがアルマス、一昨年ノ末ニ國民政府ハ命令ヲ以テ昨年ノ元旦カラシテ領事裁判權ヲ廢止ト云フ旨ヲ公布シタガ、友誼上列國ニ若シ支那ノ辦法ニ對シ異見ガアッタナルバアリマス、昨年ノ期間内ニ異見ヲ提議スペシト云アゴトヲ通ジタケレドモ、其期間ハ十三ヶ月を経過シタ今日ニ於テ未ダ具體的解決ヲ



シテカラニ屬スルコトアリマシテ、斯ウ云フ風ニ露骨ナ行動ガ我ミノ目ニ…我ミノ眼前ニ展開ナレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ我ミガ唯漫然ト看過イタシマシテ、サウシテ唯支那ノ誠意ハ斯ウデアルト云フ風ニ、ソレデ以テ向フノ誠意ニ頼テ、サウンテ行クコトガ出來ルデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、デ私ハ之ニ對シテ幣原外相ガドウ云フ風ナ御積リヲ以テ支那ヲ御覽ニナシテ居ルカ、サウシテ支那ノサウ云フ我國ニ對スル不利ナ行動、不謹慎ナル所ノ行動ニ對シ、或ハ權利ヲ侵害シ或ハ條約ヲ無視スルト云フヤウナ行動ニ對モウ一遍承リタインデアリマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登○國務大臣(男爵幣原喜重郎君)只今赤池君ヨリ種々ノ問題ニ付テノ御質問デアリマシタガ、第一ニハ鄧恩元氏ガ新聞ニ發表シテ居ル意見ヲ、私ガ之ヲ本人ノ個人ノ意見ト解シテ居ルヤウニ御話ニナリマシタガ、ソレハサウデナインデアリマシテ、先刻モ申シマシタ如ク、本人ガ之ヲ發表スル時ニ、自分ノ個人ノ意見デアルト云フコトヲ明記シテ發表イタシテ居ルト云フコトヲ先刻申シタノデアリマス、而モ其發表ナルモノハ、果シテ實際本人ガ發表イタシタモノデアルカ、新聞紙ノ或ハ何カ誤聞ニ屬スルモノデアルカ、ソレハマダ明瞭デナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、私ガ是ハ同氏ノ個人ノ意見デアルト云フコトヲ保證イタシタノデハアリマセヌ、其點ハ無論誤解シテ居ラレナイコト思ヒマスルガ、念ノ爲ニ附加ヘテ申上ゲテ置クノデアリマス、ソレカラ第一ニ鐵道法案ノコトヲ御話ニナツタノデアリマスガ、誠ニ今日支那ノ鐵道部ガ鐵道法案ナルモノヲ脱稿イタシタコトモ私等ハ承知イタシテ居リマス、又ドウ云フ條文デアルカト云フコトモ大體傳へ聞キ

ヲ致シテ居リマス、併ナガラ之ガ愈、法律トナツテ定マリマス迄ニハ尙ほ幾多ノ經緯ガアルト云フコトヲ我ミハ希望スルニ止確定セル支那政府ノ法律案ガ出來タト云フシテ幣原外相ガドウ云フ風ナ御積リヲ以テ此鐵道部ヲ脫稿イタシタ法律ナルモノハ、結果如何ナル所ニ落著クカト云フコトニ付キマシテハ十分注意ヲ致シテ居ルノデアリマス、又假令支那ガ自國ノ法律ヲ以テ鐵道問題ニ關シテ如何ナルコトヲ規定イタシマシテモ、日本ノ政府又ハ會社ガ支那トノ協定ニ基イテ持テ居リマスル、權利ト云フモノニハ、何等影響ヲ及ボスベキモノノデナイト了解イタシマス、第二ニハ王外交部長ガ此滿蒙ニ於ケル權利ニ付テ、何カ兵力ヲ以テ日本ト抗争スル、爭フ意思ガアルト云フコトヲ申述ベタト云フ御話デアリマスガ、是ハ如何ニモ支那ノ新聞ニ左様ナ王氏ノ談トシテ現レタコトガアリマスルノデ問合セマシタ所ガ、其後外交部ニ於テハ之ヲ取消シテ居リマス、又私モ苟モ外交部長デ居ル人ガ、自分ノ友邦ニ對シテ事ニ依レバ戰争モスル法律ヲ排ヘマスコトハ、例ガナイコトハアリマセヌ、併ナガラ私ハ此問題ニ付キマシテ、支那ノ行動ガ貿易ヲ致シテ居ル人ニ對越輸入ナルモノヲ防止セムガ爲ニ即時施行即時施行スルト云フヤウナ法律ヲ假ニ排ヘマシテモ、是ハ列國カラ何等苦情ヲ言ハレバキ筋合ノモノデハナインデアリマス、見越輸入ナルモノヲ防止セムガ爲ニ即時施行スル法律ヲ排ヘマスコトハ、例ガナイコトハアリマセヌ、併ナガラ私ハ此問題ニ付キマシテ、支那ノ行動ガ貿易ヲ致シテ居ル人ニ對越輸入ナルモノヲ防止セムガ爲ニ即時施行スル法律ヲ排ヘマスコトハ、例ガナイコトハアリマセヌ、併ナガラ私ハ此問題ニ付キマシテ、支那ノ行動ガ貿易ヲ致シテ居ル人ニ對

認イタシマスル以上ハ、此關稅協定ニ違反セザル範圍内ニ於キマシテ支那ガ行動ヲ執リガアルト云フコトヲ我ミハ希望スルニ止撤廢ニ努力セムコトヲ我ミハ希望スルニ止マルノデアリマス、尙ほ其關係ニ於テ統稅ノコトヲ御話ニナリマシタガ、是ハ大部分込ミ入ッタ問題デアリマスルケレドモ、要スルニ當業者ガ自分ノ利益ニ顧ミマシテ、統稅得ル筋合ノモノヂヤナイト考ヘルノデアリマス、支那ガ自分ノ主權ニ基イテ、條約ニ違反セザル範圍内ニ於テ行動ヲ執リマスト云フ結局如何ナル所ニ落著クカト云フコトニ付キマシテハ十分注意ヲ致シテ居ルノデアリマス、又假令支那ガ自國ノ法律ヲ以テ鐵道問題ニ關シテ如何ナルコトヲ規定イタシマシテモ、日本ノ政府又ハ會社ガ支那トノ協定ニ基イテ持テ居リマスル、權利ト云フモノニハ、何等影響ヲ及ボスベキモノノデナイト了解イタシマス、第二ニハ王外交部長ガ此滿蒙ニ於ケル權利ニ付テ、何カ兵力ヲ以テ日本ト抗争スル、爭フ意思ガアルト云フコトヲ申述ベタト云フ御話デアリマスガ、是ハ如何ニモ支那ノ新聞ニ左様ナ王氏ノ談トシテ現レタコトガアリマスルノデ問合セマシタ所ガ、其後外交部ニ於テハ之ヲ取消シテ居リマス、又私モ苟モ外交部長デ居ル人ガ、自分ノ友邦ニ對シテ事ニ依レバ戰争モスル法律ヲ排ヘマスコトハ、例ガナイコトハアリマセヌ、併ナガラ私ハ此問題ニ付キマシテ、支那ノ行動ガ貿易ヲ致シテ居ル人ニ對越輸入ナルモノヲ防止セムガ爲ニ即時施行スル法律ヲ排ヘマスコトハ、例ガナイコトハアリマセヌ、併ナガラ私ハ此問題ニ付キマシテ、支那ノ行動ガ貿易ヲ致シテ居ル人ニ對

スル法律ヲ排ヘマスコトハ、例ガナイコトハアリマセヌ、併ナガラ私ハ此問題ニ付キマシテ、支那ノ行動ガ貿易ヲ致シテ居ル人ニ對越輸入ナルモノヲ防止セムガ爲ニ即時施行スル法律ヲ排ヘマスコトハ、例ガナイコトハアリマセヌ、併ナガラ私ハ此問題ニ付キマシテ、支那ノ行動ガ貿易ヲ致シテ居ル人ニ對

ス、工事ノ請負契約ヲ或ハ借款契約ニ引直ストカ、或ハ如何ナル調整ヲ行フノデアルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、木村理事ガ請合ヒテシヤウト思フ問題ノ一ツデアリマス、ソレカテ上海ノ臨時法院ノコトヲ其次ニ御述ベニナリマシタ、臨時法院デハ判決ヲ執行シテ居ナイ、一つモ判決ヲ執行シテ居ナイト云フ御意見テハカカラバト思フノデアリマスガ、或事件ニ關シテ判決ヲ執行シテ居ナイト云フ事例ガアリマスレバ、其個々別々ノ場合ニ付ギマシテ、之ヲ研究イタサナケレバナリマセヌ、之ヲ人々ノ場合ニ付テ是ハ頗ル煩雜ニ涉リマスノデ、今日之ヲ御話申上ゲル譯ニモ參リマセヌガ、要スルニ支那側ノ裁判所ノ處置ニ於テ不當ナ所ガアリマズナラバ、日本政府ニ於テ之ニ對ジテ抗議ヲ致スト云フコトハ、云フコトデアリマス、是ハ我ニモ如何ニモ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、是ハ今日始マツタ事態デハナインデアリマシテ、大正四年ノ條約、即チ之ヲ支那側ノ方デハ之ヲ不當ニ、二十一箇條約ナド申シテ居リマスルガ、此問題ガ起りマンデ以來、支那側ガ斯様ナ排日ノ宣傳ヲ致シテ居ルト云フコトハ事實ニアリマス、今日ノ事態ハ、今日斯様ガ宣傳ガ急ニ起シテ來タト云フノヂハ毛頭アリマセヌ、是ハ赤池君モ御承知ノ事態ニ於テ、教科書ヲ全體ニ一律ニ改メルト云フコトハ、ナカ／＼困難ナコトデアリマスケレドモ、併ナガラ打チヤッテ置いたシイ問題トハ、決シテ考ヘテ居リマセヌ、私が先刻申シマシタ趣旨ト云フモノハ、支那ハ決シテ日本ノ感情ヲ刺戟スルヤウナカトヲ言ハナイトカ、言テ居ナイトカトアリマス、ソニ御解釋ニナシテ居ルヤウデアリマス、

○赤池濃君演壇ニ登ル

赤池濃君演壇ニ登ル

私はサウ云フ趣旨デ申上ゲタノデハナインデアリマス、若シサウ云フ風ニ御解釋下サリマス、ソレカテ上海ノ臨時法院ノコトヲシテ居ナイト云フコトヲシテ進ンデ判決ヲ執行シテ居ナイト云フ御意見テハカカラバト思フノデアリマスガ、或事件ニ關シテ判決ヲ執行シテ居ナイト云フ事例ガアリマスレバ、其個々別々ノ場合ニ付ギマシテ、之ヲ研究イタサナケレバナリマセヌ、之ヲ人々ノ場合ニ付テ是ハ頗ル煩雜ニ涉リマスノデ、今日之ヲ御話申上ゲル譯ニモ參リマセヌガ、要スルニ支那側ノ裁判所ノ處置ニ於テ不當ナ所ガアリマズナラバ、日本政府ニ於テ之ニ對ジテ抗議ヲ致スト云フコトハ、云フコトデアリマス、是ハ我ニモ如何ニモ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、是ハ今日始マツタ事態デハナインデアリマシテ、大正四年ノ條約、即チ之ヲ支那側ノ方デハ之ヲ不當ニ、二十一箇條約ナド申シテ居リマスルガ、此問題ガ起りマンデ以来、支那側ガ斯様ナ排日ノ宣傳ヲ致シテ居ルト云フコトハ事實ニアリマス、今日ノ事態ハ、今日斯様ガ宣傳ガ急ニ起シテ來タト云フノヂハ毛頭アリマセヌ、是ハ赤池君モ御承知ノ事態ニ於テ、教科書ヲ全體ニ一律ニ改メルト云フコトハ、ナカ／＼困難ナコトデアリマスケレドモ、併ナガラ打チヤッテ置いたシイ問題トハ、決シテ考ヘテ居リマセヌ、私が先刻申シマシタ趣旨ト云フモノハ、支那ハ決シテ日本ノ感情ヲ刺戟スルヤウナカトヲ言ハナイトカ、言テ居ナイトカトアリマス、ソニ御解釋ニナシテ居ルヤウデアリマス、

○赤池濃君演壇ニ登ル

赤池濃君演壇ニ登ル

私はサウ云フ趣旨デ申上ゲタノデハナインデアリマス、若シサウ云フ風ニ御解釋下サリマス、ソレカテ上海ノ臨時法院ノコトヲシテ進ンデ判決ヲ執行シテ居ナイト云フコトヲシテ進ンデ建設的革新ト云フコトヲ方針トシテ進ンデ研究イタサナケレバナリマセヌ、之ヲ人々ノ場合ニ付テ是ハ頗ル煩雜ニ涉リマスノデ、今日之ヲ御話申上ゲル譯ニモ參リマセヌガ、要スルニ支那側ノ裁判所ノ處置ニ於テ不當ナ所ガアリマズナラバ、日本政府ニ於テ之ニ對ジテ抗議ヲ致スト云フコトハ、云フコトデアリマス、是ハ我ニモ如何ニモ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、是ハ今日始マツタ事態デハナインデアリマシテ、大正四年ノ條約、即チ之ヲ支那側ノ方デハ之ヲ不當ニ、二十一箇條約ナド申シテ居リマスルガ、此問題ガ起りマンデ以来、支那側ガ斯様ナ排日ノ宣傳ヲ致シテ居ルト云フコトハ事實ニアリマス、今日ノ事態ハ、今日斯様ガ宣傳ガ急ニ起シテ來タト云フノヂハ毛頭アリマセヌ、是ハ赤池君モ御承知ノ事態ニ於テ、教科書ヲ全體ニ一律ニ改メルト云フコトハ、ナカ／＼困難ナコトデアリマスケレドモ、併ナガラ打チヤッテ置いたシイ問題トハ、決シテ考ヘテ居リマセヌ、私が先刻申シマシタ趣旨ト云フモノハ、支那ハ決シテ日本ノ感情ヲ刺戟スルヤウナカトヲ言ハナイトカ、言テ居ナイトカトアリマス、ソニ御解釋ニナシテ居ルヤウデアリマス、

○赤池濃君演壇ニ登ル

赤池濃君演壇ニ登ル

私はサウ云フ趣旨デ申上ゲタノデハナインデアリマス、若シサウ云フ風ニ御解釋下サリマス、ソレカテ上海ノ臨時法院ノコトヲシテ進ンデ判決ヲ執行シテ居ナイト云フコトヲシテ進ンデ建設的革新ト云フコトヲ方針トシテ進ンデ研究イタサナケレバナリマセヌ、之ヲ人々ノ場合ニ付テ是ハ頗ル煩雜ニ涉リマスノデ、今日之ヲ御話申上ゲル譯ニモ參リマセヌガ、要スルニ支那側ノ裁判所ノ處置ニ於テ不當ナ所ガアリマズナラバ、日本政府ニ於テ之ニ對ジテ抗議ヲ致スト云フコトハ、云フコトデアリマス、是ハ我ニモ如何ニモ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、是ハ今日始マツタ事態デハナインデアリマシテ、大正四年ノ條約、即チ之ヲ支那側ノ方デハ之ヲ不當ニ、二十一箇條約ナド申シテ居リマスルガ、此問題ガ起りマンデ以来、支那側ガ斯様ナ排日ノ宣傳ヲ致シテ居ルト云フコトハ事實ニアリマス、今日ノ事態ハ、今日斯様ガ宣傳ガ急ニ起シテ來タト云フノヂハ毛頭アリマセヌ、是ハ赤池君モ御承知ノ事態ニ於テ、教科書ヲ全體ニ一律ニ改メルト云フコトハ、ナカ／＼困難ナコトデアリマスケレドモ、併ナガラ打チヤッテ置いたシイ問題トハ、決シテ考ヘテ居リマセヌ、私が先刻申シマシタ趣旨ト云フモノハ、支那ハ決シテ日本ノ感情ヲ刺戟スルヤウナカトヲ言ハナイトカ、言テ居ナイトカトアリマス、ソニ御解釋ニナシテ居ルヤウデアリマス、



トハ甚ダドウモ時日ガ長過ギルト思フ、苟モ満洲鐵道ニ付テノ相當ノ知識ガアルモノデアタナラバ、如何ニ此奉海線ガドウカト云フコトハ直グ分ル管デアリマス、ソレカラ尙又出來タモノハ仕方ガナイ、ソレダモノダカラシテ、之ヲ何トカ相當ノ方法ヲ設ケテ協定スルト云フ御話デアルノデアリマスルガ、此點ニ付キマシテハ、先程來ノ外務大臣ノ御意見ト非常ニ違ヒマシテ、甚ダ私共心細サフ感ズルノデアリマス、支那ハ鐵道ニ開スル限りニ於テハ殊ニサウデアリマスルガ、最モ横紙破リノコトヲシテ居ルノデアリマス、満洲鐵道ニ付キマシテハ屢々此方ガ抗議ヲ申込ムニ拘ラズ、向フガ知ラヌ顔ヲシ、或ハ馬耳東風ニ聞キ流シテ、ソレデ以テ隨分非違ヲ遂行シテ今日マデ來タノデアリマス、ソレヲ出來タカラ仕方ガナイカラト云フ譯デ以テオヤリニナルト云フノハドウ等顧ミル所ナクシテ、ソレデ以テ鐵道ヲ敷設シテシマッテ、ソレヲヤッテ居ル譯デアリマス、ソレヲ出來タカラ仕方ガナイカラト云フ譯デ以テオヤリニナルト云フノハドウ云フモノデゴザイマセウカ、萬事サウ云フヤウナ筆法デ以テ條約ヲ蹂躪シテヤルコトヲ唯傍観……傍観ト申シマシテハ語弊ガアリマスナラバ、櫻當ナ言葉ニ取換ヘマスガ、兎ニ角爲スガ儘ニサセテ、横紙破リノコトヲサセテ、サウンシテ出來タカラ仕方ガナニ、何トカ後始末ヲスルト云フ風ナコトヲシテハ、將來ノコトガ甚ダ思ヒヤラレマス、満鐵ト申シマスモノハ我國ノ満洲經營ノ最モ大ナルモノデアリマシテ、満鐵ヲ失へバ即チ満洲ヲ失フト、左様ナコトニナルノデアリマス、此満鐵ノ利害ニ重大ナル關係アル所ノ此奉海線之ニ付キマシテ唯サウ云フ風ノ態度デ居ラレルモノデアリマセウカ、ドウカ又所謂先程申シマシタ所ノ北寧線ト奉海線ノ延長、所謂「クロス」問題、是モ向フガ無理押シヲシテソレデ以テ昨年ノ九月ヤツタモノデアルノデアリマス、此前カラモ開通ハシテ居リマシタケレドモ、我ガ抗議ニ

依テ中止シテ居リマシテ、昨年カラハ堂々ト國際的ノ鐵道デアルノダ、通路デアルノダト云フヤウナ顔ヲシテ、ソレデ以テ公然ニ付キマシテハ、先程來ノ外務大臣ノ御意見ト非常ニ違ヒマシテ、甚ダ私共心細サフ感ズルノデアリマス、支那ハ鐵道ニ開スル限りニ於テハ殊ニサウデアリマスルガ、最モ横紙破リノコトヲシテ居ルノデアリマス、從々テ瀋海線ガ満鐵ニ對シテ脅威デ成シテ居ル、即チ向フノ横紙破リノ狀況ヲ此方ガ傍観シテ居ルト云フヤウナ状況ニナテ居ルノハ、萬事斯ワ云フ風ナコトニナリマシタナラバ、満鐵ノ將來ト云フモノハドウ云フモノデアリマセウカ、言フヲ俟タズ、火ヲ睹ヨリモ明カナル結果ニナルダラウト思フノデアリマス、私ハ是レ以上色々ノコトヲ問ヒ、論議カマシイコトヲ言フヤウナ氣ハアリマセヌ、飽迄モ外務大臣ガ條約上ノ権利ハ何處マデモ尊重サレマシテ、サウシテ十分ニ其事ヲヤッテ戴キタイ、彼ニ非違ヲ遂がセセルコトノナイヤウナ風ニ警告スベキモノガアタラ十分戒告シテ反省サセ、ソレデ以テ非ヲ改ムヤウナ風ニサセタイ、茲ニ帝國外交ノ真價値ガアルニアウナト云フコトヲ思フノデアリマシテ、ダラウト云フコトヲ希望イタシマシテ此壇ヲ下ル者デアリマス、次第ダト、斯ウ思フノデアリマシテ、吳レ吳レモ外務大臣ノ御健全ナラムコトヲ希望イタシマシテ此壇ヲ下ル者デアリマス、〔伯爵柳澤保惠君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 柳澤伯爵  
○伯爵柳澤保惠君 チヨット私ハ議事ノ進行ニ付テ申上ガタイト思テ居リマシタガ、只今赤池君ハアレデ以テモウ後ハ言ハレヌヤウデゴザイマスカラ、發言ハ致シマセヌス、左様御諒承ヲ願ヒマス  
○赤池濃君  
○赤池濃君 只今御反駁ガアリマシタノデナク、奉海線ガ満鐵ノ並行線デナク、妨害線デナク、榮養線デアルト云フ御話デアタノデアリマスガ、明カナ並行線デアリマス、〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登場〕是ガ並行線デナイト云フ人ガアリマシタナラバ、地圖ヲ見大人ノ議論ダト云フコトノ申サレマセヌ、而シテ奉海線ト吉海線ガハ申サレマセヌ、〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登場〕連絡シタ結果ハドウデアリマスカ、之ガ爲ニ日本ノ満蒙五案件ニ關スル協約ニ依ル所ノ吉林開原線ヲ拋棄イタンタル同等デアル、昔滿鐵ニ於テハ公主嶺、開原ハ最モ殷賑ナル所ノ貨物ノ驛デアリマシタ、所ガ此奉海線ノ出來タ爲ニ今日公主嶺ナリ、開原ノ袤ニ御考ニナツテ居ルヤウデアリマスルガ、○議長(公爵德川家達君) 赤池君ハマダ質疑ヲ爲サルノデアリマスカ

○副議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ午後ノ  
○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 簡單ニ御答申上ゲマス、瀋海線ハ何カ満鐵ニ對シテノデアリマス、此満鐵ノ利害ニ重大ナル關係アル所ノ此奉海線之ニ付キマシテ唯サウ云フ風ノ態度デ居ラレルモノデアリマセウカ、ドウカ又所謂先程申シマシタ所ノ北寧線ト奉海線ノ延長、所謂「クロス」問題、是モ向フガ無理押シヲシテソレデ以テ昨年ノ九月ヤツタモノデアルノデアリマス、此前カラモ開通ハシテ居リマシタケレドモ、我ガ抗議ニ  
○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 其點ニ付キマシテハ、先刻申述ベタノデアリマス、洮昂線ノ工事請負ヲ致シマス時ニ關聯イタニ於テ異議ヲ唱ヘナイコトニナク、〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登場〕由ヲ承ハタノデアリマスガ、ソレニ對スル御答ガアリマセヌカラ、其點ニ付テ御質問ヲ致シタイト思フノデアリマス  
○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 其點ニ付キマシテハ、先刻申述ベタノデアリマス、洮昂線ノ工事請負ヲ致シマス時ニ關聯イタニ於テ異議ヲ唱ヘナイコトニナク、〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登場〕由ヲ承ハタノデアリマスガ、ソレニ對スル御答ガアリマセヌカラ、其點ニ付テ御質問ヲ致シタイト思フノデアリマス  
○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 其點ニ付キマシテハ、先刻申述ベタノデアリマス、洮昂線ノ工事請負ヲ致シマス時ニ關聯イタニ於テ異議ヲ唱ヘナイコトニナク、〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登場〕由ヲ承ハタノデアリマスガ、ソレニ對スル御答ガアリマセヌカラ、其點ニ付テ御質問ヲ致シタイト思フノデアリマス  
○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 休憩ヲ致シマス、午後一時三十分カラ開會イタシマス

○副議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト ニマデヲ一括シテ議題ニ供シマス、渡邊司 法大臣	會議ノ開キマス、日程ヲ變更シテ第一、國 務大臣ノ演説ニ對スル件ハ、之ヲ最後ニ迴 シタルト存ジマス、御異存ゴザイマセヌカ 「異議ナシ」と呼フ者アリ」
○副議長(公爵近衛文麿君) 第三ヨリ第十 二マデヲ一括シテ議題ニ供シマス、渡邊司 法大臣	右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議 院法第五十四條ニ依リ及送付候也

五 代理人ニ依リテ申請スルトキハ其 ノ權限ヲ證スル書面	五 件ノ登記アルトキ
前項第三號ノ證書ナキトキハ申請書ニ 其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス	一 申請書
第一條第二項ノ申請ヲ爲スニハ申請書 ニ共ノ旨ヲ記載シ且他ノ登記所ノ管轄 ニ屬スル目的物ノ登記簿ノ勝本並ニ其 ノ登記所ノ數ニ應ジ申請書ノ副本及附 屬書面ノ寫本ヲ提出スルコトヲ要ス	二 抵當證券發行ノ特約ノ登記ナキト キハ抵當權設定者又ハ第三取得者及 債務者ノ同意書
抵當權ノ目的物ガ數個ノ登記所ノ管轄 地ニ散在スルトキハ抵當證券ノ交付ハ 其ノ一人登記所ニ之ヲ申請スルコトヲ 要ス	三 手形其ノ他ノ債權ニ關スル證書 抵當證券法案
抵當證券交付ノ申請ハ申請人(代理人) ニ依リテ申請スルトキハ其ノ代理人 登記所ニ出頭シテ之ヲ爲スコトヲ要 ス	四 借款ノ提出スルコトヲ要ス

十 氏名及住所並ニ登記ノ年月日 十一 申請所ノ表示	十 登記所ノ表示
第五條 登記官吏ハ抵當證券交付ノ申請 ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ理由 ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スルコ トヲ要ス但シ申請ノ欠缺ガ補正スルコト ヲ得ベキモノナル場合ニ於テ申請人方 即日之ヲ補正シタルトキハ此ノ限ニ在 ラズ	十一 其ノ登記所ノ管轄ニ屬セザルトキ
二 第二條ニ規定スル事由アルトキ 三 申請書ガ方式ニ適合セザルトキ ト符合セザルトキ	十二 第二條ニ規定スル事由アルトキ
四 申請人が出頭セザルトキ 五 申請書ガ方式ニ適合セザルトキ 六 必要ナル書面ヲ提出セザルトキ 七 手數料ヲ納付セザルトキ	十三 申請所ノ登記簿ニ付抵當證券ヲ作 成スベキ旨ヲ囁託スルコトヲ要ス
八 記載又ハ事實ト符合セザルコト 九 タルコト	四 第一條第二項ノ申請アリタル場合ニ於 テハ登記官吏ハ申請書ノ副本及附屬書 面ノ寫本ヲ各管轄登記所ニ送付シ其ノ 管轄ニ屬スル目的物ニ付抵當證券ヲ作 成スベキ旨ヲ囁託スルコトヲ要ス

第十條 第六條ノ催告ヲ受ケタル者ハ異 議ニ申立ヲ爲スコトヲ得ル事由ニ付テ キハ裁判所ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ關係登 記所ニ通知スルコトヲ要ス	第十條 第六條ノ催告ヲ受ケタル者ハ異 議ニ申立ヲ爲スコトヲ得ル事由ニ付テ キハ裁判所ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ關係登 記所ニ通知スルコトヲ要ス
第十九條 異議ニ關スル裁判確定シタルト キハ裁判所ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ關係登 記所ニ通知スルコトヲ要ス	第十九條 異議ニ關スル裁判確定シタルト キハ裁判所ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ關係登 記所ニ通知スルコトヲ要ス
第一項ノ催告ニハ第四條第一號及第三 之ヲ以テ抵當證券ノ善意ノ取得者ニ對 抗キ	第一項ノ催告ニハ第四條第一號及第三 之ヲ以テ抵當證券ノ善意ノ取得者ニ對 抗キ
四 債權又ハ抵當權ニ附シタル解除條 款ノ登記アルトキハ其ノ權利者ノ	四 債權者ニ對スル催告ニハ前項ノ事項ノ 外第三條第一項第三號ノ證書ガ手形ナ ルトキハ其ノ表示及同條第二項ノ規定 ニ依ル記載ヲモ記載スルコトヲ要ス
九 地上權、永小作權、地役權又ハ賃 借權ノ登記アルトキハ其ノ權利者ノ	九 地上權者ニ對スル催告ニハ前項ノ事項ノ 外第三條第一項第三號ノ證書ガ手形ナ ルトキハ其ノ表示及同條第二項ノ規定 ニ依ル記載ヲモ記載スルコトヲ要ス

抗スルコトヲ得ズ

異議ノ申立ヲ理由ナシトスル裁判確定シタル場合ニ於テハ其ノ申立ヲ爲シタル者ハ二月内ニ訴ヲ提起スルニ非ザレバ申立ヲ爲シタル事由ヲ以テ抵當證券ノ善意ノ取得者ニ對抗スルコトヲ得ズ

前項ノ訴ノ提起アリタルトキハ裁判所ハ之ヲ公告スルコトヲ要ス

第十一條 第六條ノ催告ニ指定シタル期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ登記官吏ハ抵當權ノ目的物ガ其ノ登記所ノ管轄地ノミニ在ル場合ニハ直ニ、抵當權ヲ理目的物方數個ノ登記所ノ管轄地ニ散在スル場合ニハ嘱託ヲ受ケタル登記所ヨリ抵當證券ノ送付ヲ受ケタル後直ニ抵當證券ヲ交付スルコトヲ要ス異議ヲ理ジ

第十二條 抵當證券ニハ左ニ掲タル事項ノ印ヲ押捺スルコトヲ要ス

一 證券ノ番號

二 第四條第一號及第三號乃至第九號ニ掲タル事項

三 登記所ノ表示

四 證券作成ノ年月日

嘱託ヲ受ケタル登記所ヨリ抵當證券ノ送付ヲ受ケタルトキハ登記官吏ハ其ノ作成ニ係ルモノト一括シ之ニ各證券ハ同一ノ債權ノ爲ニ作成シタルモノナル旨ヲ記載シ且記名捺印スルコトヲ要ス

第十三條 第三條第一項第二號及第三號ス

ノ書面ノ提出アリタル場合ニ於テ抵當證券ヲ交付シタルトキハ登記官吏ハ抵當證券ヲ交付シタル旨ヲ其ノ書面ニ記載シ登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ申請人ニ還付スルコトヲ要ス其ノ書面中ニ手形アルトキハ其ノ手形ハ爾後效力ヲ有

第二十條 前條ノ規定ハ不動產登記法第八十一条又ハ第九十三條ノ登記ヲ完了

第十四條 抵當證券ノ發行アリタルトキテ之ヲ爲ス

ハ抵當權及債權ノ處分ハ抵當證券ヲ以テスルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

抵當權ト債權トハ分離シテ之ヲ處分スルコトヲ得ズ

前項ノ訴ノ提起アリタルトキハ裁判所

ハ之ヲ公告スルコトヲ要ス

商法第四百五十七條第一項ノ規定ハ前項ノ裏書ニ之ヲ準用ス尙其ノ裏書ニハ

之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ要ス

第十六條 抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於テハ抵當權ノ變更ハ不動產登記法ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ登記ヲ爲シ且抵當證券ノ記載ノ變更ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

數個ノ不動產ニ付抵當權アル場合ニ於テ其ノヲ消滅セシメタルトキ亦同ジ

第十七條 抵當證券ノ記載ノ錯誤又ハ遺漏ガ登記ノ錯誤又ハ遺漏ニ基カザル場合ニ於テハ所持人ハ抵當證券ノ記載ノ變更ヲ申請スルコトヲ得債務者ノ表示ノ變更其ノ他ノ事由ニ因リ登記ヲ變更又ハ更正シタル爲抵當證券ノ記載ガ登記ト符合セザルニ至リタル場合亦同ジ

第十八條 前條ノ場合ヲ除クノ外抵當證券ノ記載ノ變更ハ不動產登記法第五十六條、第六十四條、第八十一條又ハ第九十三條ノ規定ニ依ル登記ヲ爲シタルトキハ元本ノ辨濟期到來シタルモノト看做ス但シ抵當證券ニ特約ノ記載タルトキハ元本ノ辨濟期後一年内ニ達シタル場合ニ於テ其ノ延滞ガ二年ニ達シタルトキハ元本ノ辨濟期後一年内ニ達シタルトキ全元本ニ付亦同ジ

第二十七條 抵當證券ノ所持人ハ元本ノアルトキハ其ノ定ニ從フ定期ニ元本ヲ辨濟スペキ場合ニ於テ其ノ延滞ガ二年ニ達シタルトキ全元本ニ付亦同ジ

第二十八條 抵當證券ノ所持人ハ元本ノアルトキハ其ノ定ニ從フ定期ニ元本ヲ辨濟期後一年内ニ債務者ニ對シテ支拂ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第三十二條 抵當權が存在セズ若ハザル目的タル物及權利ノ全部が滅失シタルニ因リ競賣ノ申立ヲ爲スコト能ハザルトキ又ハ競賣代金ヲ以テ競賣費用ヲ償フ見込ナキトキハ抵當證券ノ所持人ハ前二條ノ規定ニ拘ラズ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ前者ニ對シ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得但シ辨濟期ヨリ三年内ニ許可ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス

第三十條第二項ノ規定ハ前項但書ノ許可ノ申請ニ付之ヲ準用ス

第三十三條 第三十條第二項及前條ノ裁判ハ抵當權ノ目的物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ於テ非訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 抵當證券ノ所持人ハ左ノ場合ニ於テ抵當證券ヲ交付シタル登記所合ニ證券ノ再交付ヲ申請スルコトヲ得

一 證券ヲ汚損シタルトキ

二 證券ヲ喪失シタル場合ニ於テ除權判決アリタルトキ

第二十二條 抵當證券ノ再交付ニ關シテハ命令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外

第三條乃至第十三條ノ規定ヲ準用ス

第二十三條 不動產登記法第六十五條ノ場合ニ於テ登記官吏ガ回復登記ノ手續ヲ完了シタルトキハ更ニ抵當證券ヲ作成シ舊證券ノ所持人ニ交付スルコトヲ要ス

第二十四條 民法第三百七十八條及第三百八十一條乃至第三百八十七條ノ規定ハ抵當證券ヲ發行アリタル抵當權ニハ

第二十五條 抵當證券ノ所持人ハ元本ノ一部又ハ利息ノ支拂アリタルトキハ證券ニ其ノ金額及受領ノ年月日ヲ記載シ且之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十六條 債務者ガ利息ノ支拂ヲ怠リタル場合ニ於テ其ノ延滞ガ二年ニ達シタルトキハ元本ノ辨濟期到來シタルモノト看做ス但シ抵當證券ニ特約ノ記載タルトキハ元本ノ辨濟期後一年内ニ達シタルトキ全元本ニ付亦同ジ

第二十七條 抵當證券ノ所持人ハ元本ノアルトキハ其ノ定ニ從フ定期ニ元本ヲ辨濟スペキ場合ニ於テ其ノ延滞ガ二年ニ達シタルトキ全元本ニ付亦同ジ

第二十八條 抵當權が存在セズ若ハザル目的タル物及權利ノ全部が滅失シタルニ因リ競賣ノ申立ヲ爲スコト能ハザルトキ又ハ競賣代金ヲ以テ競賣費用ヲ償フ見込ナキトキハ抵當證券ノ所持人ハ前二條ノ規定ニ拘ラズ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ前者ニ對シ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得但シ辨濟期ヨリ三年内ニ許可ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス

第二十九條 第三十條第二項ノ規定ハ前項但書ノ許可ノ申請ニ付之ヲ準用ス

第三十三條 第三十條第二項及前條ノ裁判ハ抵當權ノ目的物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ於テ非訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

ニ記載シタル住所ニ於テ支拂ノ請求ヲ爲スヲ以テ足ル

第二十九條 第二十七條第一項ノ場合ニ於テ債務者ガ支拂ヲ爲サザルトキハ抵當證券ノ所持人ハ五日内ニ各裏書人ニ對シテ其ノ旨ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ各裏書人ハ抵當證券ト引換ニ其ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

第三十條 抵當證券ノ所持人ハ債務者ガ元本ノ支拂ヲ爲サザルトキハ辨濟期ヨリ三月内ニ抵當權ノ目的タル土地、建物又ハ地上權ニ付競賣ノ申立ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ各裏書人ハ抵當證券ト引換ニ其ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 抵當證券ノ所持人ハ競賣代金ヲ以テ支拂ヲ受ケザル債權ノ部分ニ付テノミ其ノ前者ニ對シ償還ノ請求ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第三十二條 抵當權が存 在セズ若ハザルニ因リ競賣ノ申立ヲ爲スコト能ハザルトキ又ハ競賣代金ヲ以テ競賣費用ヲ償フ見込ナキトキハ抵當證券ノ所持人ハ前二條ノ規定ニ拘ラズ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ前者ニ對シ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得但シ辨濟期ヨリ三年内ニ許可ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條 第三十條第二項及前條ノ裁判ハ抵當權ノ目的物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ於テ非訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス





以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ」ヲ加

一項ヲ加フ

農工銀行ハ不動産ヲ抵當トスル債權

(抵當證券ヲ含ム)ヲ質トシテ日本勸業

銀行ヨリ定期償還ノ方法ニ依リ借入金

又ハ之ヲ抵當トスル債權(抵當證券ヲ含

ム)ヲ質トスル貸付金額ニ改ム

第六條ノ二中「宅地又ハ建物ヲ抵當トス

ル貸付金額」ヲ「宅地若ハ建物ヲ抵當トシ

又ハ之ヲ抵當トスル債權ニ改ム

第七條中「拂込資本金額及農工債券發行

額ノ四分ノ三迄」ヲ「拂込資本金額及農工

債券發行額迄」ニ改ム

第七條ノ三ヲ第七條ノ五トス

第七條ノ四ヲ第七條ノ六トシ同條中「田

畠、鹽田、山林、牧場、養魚池ヲ抵當トシ又ハ之

ヲ抵當スル債權(抵當證券ヲ含ム)ヲ質ト

スル貸付、漁業權ヲ抵當トスル貸付ニ、

山林、牧場若ハ養魚池ヲ抵當トシ又ハ之

ヲ抵當スル債權(抵當證券ヲ含ム)ヲ質ト

スル貸付、漁業權ヲ抵當トスル貸付ニ、

ノ定期償還貸付ヲ爲スコトヲ得

第七條ノ三ヲ「第七條ノ五」ニ改ム

第八條第一項、第九條、第十條、第十一

條及第十九條ノ規定ハ前項ノ貸付ノ

擔保タル債權ニ附隨スル抵當權及其ノ

目的タル不動產ニ之ヲ準用ス

第七條ノ四 農工銀行ハ抵當證券ノ賣買

本法中貸付ニ關スル規定ハ抵當證券ノ

買入ニ關シ之ヲ準用ス

第二十條中「市町村」ノ上ニ「府縣」ヲ加ヘ

〔前項ノ〕ヲ削リ同條第一項ノ次ニ左ノ一

項ヲ加フ  
前項ノ場合ニ於テ農工銀行ハ府縣ニ對  
シテハ内務大臣ニ其ノ請求ヲ爲スヘシ  
第二十三條第二號中「第六條各項」ヲ「第  
六條及第七條ノ三」ニ改ム  
第二十四條第一項中「日本勸業銀行」ヲ加ヘ同條ニ左ノ  
〔又ハ他ノ農工銀行〕ヲ加ヘ同條ニ左ノ

ヲ爲サルトキ亦同シ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

貯蓄銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和六年三月七日 貴族院議長公爵徳川家達殿

第十一條第一項中第六號以下ヲ左ノ如ク  
改ム 第五條第六號ノ規定ニ依ル有價證券ノ給付ヲ受クヘキ債權者ニ對シ既ニ拂込ミタル賦拂金ヲ限度トスル貨付

七 道府縣市町村ニ對スル一年内ノ貸付

八 割賦償還ノ方法ニ依ル二年内ノ貸付

九 銀行若ハ大藏省預金部ヘノ預ヶ金又ハ郵便貯金

十 主務大臣ノ定ムル所ニ依リ信託會社ヘ爲ス金錢又ハ有價證券ノ信託銀行又ハ信託會社ノ引受アル手付

十一 銀行又ハ信託會社ノ引受アル手付

十二 銀行若ハ大藏省預金部ヘノ預ヶ金又ハ郵便貯金

十三 銀行又ハ信託會社ノ引受アル手付

第十一條第一項第三號又ハ第七號ノ規定ニ依ル貸付金ノ總額ハ各拂込資本金及準備金ノ總額ヲ、第十一條第一項第八號ノ規定ニ依ル貸付金ノ總額ハ拂込資本金及準備金ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

同條ニ左ノ一項ヲ加フ 第十四條中「第五號ヲ下ニ「第六號」ヲ加ヘ「第九條第二項」ヲ「第九條第三項」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前二項ノ規定ハ一信託會社ニ對スル信託財產及其ノ信託會社ノ引受ケタル手形ノ買入高ノ總額ニ付之ヲ準用ス

第十五條第一項中「第五號」ノ下ニ「第六號ヲ加フ 第十七條 有價證券割賦販賣業法ハ第一條及第八條乃至第十一條ノ規定ニ限り財團銀行ニシテ第五條第六號ノ業務ヲ營ム者ニ付之ヲ適用ス

第三條第一項中第六號以下ヲ左ノ如ク改ム 第二十一條第二項中「給付金」ノ下ニ及ニ付第五條第六號ノ規定ニ依リ給付ヲ爲スヘキ有價證券ヲ加フ 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム〔國務大臣渡邊千冬君演壇ニ登ル〕 ○國務大臣〔子爵渡邊千冬君〕 只今議題トナリマシタ抵當證券法案、不動產登記法中改正法律案、民事訴訟法中改正法律案、競賣法中改正法律案及民事訴訟用印紙法中改正法律案ニ付キマシテ一括シテ提案ノ理由ヲ申述ベタトイト存ジマス、我國不動產金融ノ狀況ヲ見マスルニ、不動產ヲ擔保トスル債務ノ總額ハ、昭和三年末ニ於テ六十二億圓ヲ超ユル巨額ニ上ボツテ居ルノアリマス、而シテニ要望セラレテ居ルノアリマス、然ルニ我國現在ノ制度ニ於テハ不動產抵當債權者ガ、自己ノ抵當債權ヲ資金化スル上ニ於キマシテ、有效簡便ナル方法ガ設ケラレテ居ナイ爲メ、平時ニ於テ財界變調ノ際ニ於テモ、常ニ多大ノ不便ヲ感ジテ居タ次第デアリマス、政府ハ茲ニ見る所ガアリマシテ、抵當證券法ノ制定ニ依リ、抵當證券制度ヲ創設イタシマシテ、不動產抵當債權ノ證券化ヲ圖ルコトトシ、兎角ニ固定シ易イ不動產貸出ニ關スル缺點ヲ除去シ、不動產所有者ノ爲メ、金融ノ便宜ヲ増進セシメタイトシマス、今此制度ノ金融上ノ作用ヲ概略申述べマスト、抵當證券ハ不動產ヲ抵當トスル債權ヲ證券化シタモノアリマシテ、大體ニ於テ手形ニ不動產抵當ヲ固著セシメ形ノ買入高ノ總額ニ付之ヲ準用ス

第三者ニ對抗スルコトガ出來ナイノデアリテ第三者ニ付之ヲ適用ス

同様ニ裏書ニ依レテ之ヲ讓渡シマスレバ、斯クテ裏書讓渡ト云フ簡便ナル手段ニ依リマシテ轉タルコトニナルノアリマス、是等ノ銀行ヲシテ其機能ヲ十分ニ發揮スカラ、不動產ノ抵當ノ附イタ債權が容易ニ流動シ、從ラテ又資金化ニ都合好クナルト云フ仕組デアルノデアリマス、之ニ加タル又ノ裏書ニハ一定ノ裏書上ノ責任ガ附着ナリマスノデ、人的擔保作用ガ不動產シテ居リマスノデ、人附の擔保作用ガ不動產ノ申述ベタトイト存ジマス、我國不動產金融ノ狀況ヲ見マスルニ、不動產ヲ擔保トスル債務ノ總額ハ、昭和三年末ニ於テ六十二億圓ヲ超ユル巨額ニ上ボツテ居ルノアリマス、而シテニ要望セラレテ居ルノアリマス、然ルニ我國現在ノ制度ニ於テハ不動產抵當債權者ガ、自己ノ抵當債權ヲ資金化スル上ニ於キマシテ、有效簡便ナル方法ガ設ケラレテ居ナイ爲メ、平時ニ於テ財界變調ノ際ニ於テモ、常ニ多大ノ不便ヲ感ジテ居タ次第デアリマス、政府ハ茲ニ見る所ガアリマシテ、抵當證券法ノ制定ニ依リ、抵當證券制度ヲ創設イタシマシテ、不動產抵當債權ノ證券化ヲ圖ルコトトシ、兎角ニ固定シ易イ不動產貸出ニ關スル缺點ヲ除去シ、不動產所有者ノ爲メ、金融ノ便宜ヲ増進セシメタイトシマス、今此制度ノ金融上ノ作用ヲ概略申述べマスト、抵當證券ハ不動產ヲ抵當トスル債權ヲ證券化シタモノアリマシテ、大體ニ於テ手形ニ不動產抵當ヲ固著セシメ形ノ買入高ノ總額ニ付之ヲ準用ス

第三者ニ付之ヲ適用ス

同様ニ裏書ニ依レテ之ヲ讓渡シマスレバ、斯クテ裏書讓渡ト云フ簡便ナル手段ニ依リマシテ轉タルコトニナルノアリマス、是等ノ銀行ヲシテ其機能ヲ十分ニ發揮スカラ、不動產ノ抵當ノ附イタ債權が容易ニ流動シ、從ラテ又資金化ニ都合好クナルト云フ仕組デアルノデアリマス、之ニ加タル又ノ裏書ニハ一定ノ裏書上ノ責任ガ附着ナリマスノデ、人附の擔保作用ガ不動產シテ居リマスノデ、人附の擔保作用ガ不動產ノ申述ベタトイト存ジマス、我國不動產金融ノ狀況ヲ見マスルニ、不動產ヲ擔保トスル債務ノ總額ハ、昭和三年末ニ於テ六十二億圓ヲ超ユル巨額ニ上ボツテ居ルノアリマス、而シテニ要望セラレテ居ルノアリマス、然ルニ我國現在ノ制度ニ於テハ不動產抵當債權者ガ、自己ノ抵當債權ヲ資金化スル上ニ於キマシテ、有效簡便ナル方法ガ設ケラレテ居ナイ爲メ、平時ニ於テ財界變調ノ際ニ於テモ、常ニ多大ノ不便ヲ感ジテ居タ次第デアリマス、政府ハ茲ニ見る所ガアリマシテ、抵當證券法ノ制定ニ依リ、抵當證券制度ヲ創設イタシマシテ、不動產抵當債權ノ證券化ヲ圖ルコトトシ、兎角ニ固定シ易イ不動產貸出ニ關スル缺點ヲ除去シ、不動產所有者ノ爲メ、金融ノ便宜ヲ増進セシメタイトシマス、今此制度ノ金融上ノ作用ヲ概略申述べマスト、抵當證券ハ不動產ヲ抵當トスル債權ヲ證券化シタモノアリマシテ、大體ニ於テ手形ニ不動產抵當ヲ固著セシメ形ノ買入高ノ總額ニ付之ヲ準用ス

第三者ニ付之ヲ適用ス

同様ニ裏書ニ依レテ之ヲ讓渡シマスレバ、斯クテ裏書讓渡ト云フ簡便ナル手段ニ依リマシテ轉タルコトニナルノアリマス、是等ノ銀行ヲシテ其機能ヲ十分ニ發揮スカラ、不動產ノ抵當ノ附イタ債權が容易ニ流動シ、從ラテ又資金化ニ都合好クナルト云フ仕組デアルノデアリマス、之ニ加タル又ノ裏書ニハ一定ノ裏書上ノ責任ガ附着ナリマスノデ、人附の擔保作用ガ不動產シテ居リマスノデ、人附の擔保作用ガ不動產ノ申述ベタトイト存ジマス、我國不動產金融ノ狀況ヲ見マスルニ、不動產ヲ擔保トスル債務ノ總額ハ、昭和三年末ニ於テ六十二億圓ヲ超ユル巨額ニ上ボツテ居ルノアリマス、而シテニ要望セラレテ居ルノアリマス、然ルニ我國現在ノ制度ニ於テハ不動產抵當債權者ガ、自己ノ抵當債權ヲ資金化スル上ニ於キマシテ、有效簡便ナル方法ガ設ケラレテ居ナイ爲メ、平時ニ於テ財界變調ノ際ニ於テモ、常ニ多大ノ不便ヲ感ジテ居タ次第デアリマス、政府ハ茲ニ見る所ガアリマシテ、抵當證券法ノ制定ニ依リ、抵當證券制度ヲ創設イタシマシテ、不動產抵當債權ノ證券化ヲ圖ルコトトシ、兎角ニ固定シ易イ不動產貸出ニ關スル缺點ヲ除去シ、不動產所有者ノ爲メ、金融ノ便宜ヲ増進セシメタイトシマス、今此制度ノ金融上ノ作用ヲ概略申述べマスト、抵當證券ハ不動產ヲ抵當トスル債權ヲ證券化シタモノアリマシテ、大體ニ於テ手形ニ不動產抵當ヲ固著セシメ形ノ買入高ノ總額ニ付之ヲ準用ス

第三者ニ付之ヲ適用ス

同様ニ裏書ニ依レテ之ヲ讓渡シマスレバ、斯クテ裏書讓渡ト云フ簡便ナル手段ニ依リマシテ轉タルコトニナルノアリマス、是等ノ銀行ヲシテ其機能ヲ十分ニ發揮スカラ、不動產ノ抵當ノ附イタ債權が容易ニ流動シ、從ラテ又資金化ニ都合好クナルト云フ仕組デアルノデアリマス、之ニ加タル又ノ裏書ニハ一定ノ裏書上ノ責任ガ附着ナリマスノデ、人附の擔保作用ガ不動產シテ居リマスノデ、人附の擔保作用ガ不動產ノ申述ベタトイト存ジマス、我國不動產金融ノ狀況ヲ見マスルニ、不動產ヲ擔保トスル債務ノ總額ハ、昭和三年末ニ於テ六十二億圓ヲ超ユル巨額ニ上ボツテ居ルノアリマス、而シテニ要望セラレテ居ルノアリマス、然ルニ我國現在ノ制度ニ於テハ不動產抵當債權者ガ、自己ノ抵當債權ヲ資金化スル上ニ於キマシテ、有效簡便ナル方法ガ設ケラレテ居ナイ爲メ、平時ニ於テ財界變調ノ際ニ於テモ、常ニ多大ノ不便ヲ感ジテ居タ次第デアリマス、政府ハ茲ニ見る所ガアリマシテ、抵當證券法ノ制定ニ依リ、抵當證券制度ヲ創設イタシマシテ、不動產抵當債權ノ證券化ヲ圖ルコトトシ、兎角ニ固定シ易イ不動產貸出ニ關スル缺點ヲ除去シ、不動產所有者ノ爲メ、金融ノ便宜ヲ増進セシメタイトシマス、今此制度ノ金融上ノ作用ヲ概略申述べマスト、抵當證券ハ不動產ヲ抵當トスル債權ヲ證券化シタモノアリマシテ、大體ニ於テ手形ニ不動產抵當ヲ固著セシメ形ノ買入高ノ總額ニ付之ヲ準用ス

マヌハ、然ルニ今回抵當證券ノ制度ガ出来マシテ、納税者ノ財産ノ上ニ設定セラレマシタ抵當權ニ付テ抵當證券が發行セラレタ場合、證券ガ轉々シマシテ、其所持人が何人アルか分明セズ、從テ稅務署が權利者ニ通知ガ出来ズ、其結果トシテ債權者ガ國稅ニ對之先取權ヲ行使スルノ機會ヲ失フが如き場合ヲ生ズル虞ガアリマス、斯ノ如キ場合ニ相當期間ノ猶豫ヲ與へ、其權利行使の機會ヲ得セシムルノ必要ヲ認メテシテ、茲ニ本案ヲ提出シタ次第アリマス、尙ホ從來稅法ノ改正を伴ヒマシテ、改正ヲ要スルモノガアリ不ルモノ、是モ同時ニ正スルエトト瑞シマシタ、併李御審議ノ上、其提案を理由由來説明をタシテス、現得財蓄銀行法ヘ、大正十年制定セテ、同十二年ヨリ實施ア見タモノアリマシテ、其制度ハ略、整備シテ屢リマスガ、更ニ實用性、更ニ信託、貯蓄銀行ノ業務、關係、實情ニ鑑ミマシテ、貯蓄銀行ノ業務トシテ管マシムモノ支撑ナシト認ムル種目ヲ追加シ、又資金運用ノ範圍ヲ擴張シ、就中貯蓄銀行が庶民階級ニ對セ、對人信用ニ依ル、本體度ノ資金供給ヲ爲シ得ル、斯ノ如クハ政府ノ御關係アリムエトモ望ミアヌ、山陽萬之助君、質疑ヲ御許シ願ヒマス。

○副議長(公爵近衛文麿君) 宜シウゴサボンス(山陽萬之助君演壇ニ登ル)。○山陽萬之助君 私ハ只今上程ニカリマシタル抵當證券法案、是等ニ率騎イタシマシタル法律關係ニ付キマシテ、政府ニ質疑ヲ請シタモノアリマス、因下ノ經濟界ノ不況、對人信用ニ付テ、今日デヘ對物信用ヲ以テ我ガ經濟界ニ於ケル金融ヲ圖ルノ外ハナイ狀況ニ

ナテ居リマスルコトハ、私ノ最モ遺憾トスル所デアリマス、即ち今日手形ノ如キ對人關係ニ於ケル信用……は對人信用ト云デアルカ、斯レバ、第一ニ本案ヲ法律上カテ觀察シテ見マスルト、有價證券トシテノ實ノ價が内ニ於ケル不渡手形ノ數ハ九千五百五十八枚ヲ數スル状況アリスルコトハ、以テ如何ニ我方財界ノ對人信用ガ惡タアルト云フユトテ推知スルニ足ムノアリマス、全曰誠ニ金融難ノ時代アリマス、產業ノ發達ハ、何トシテモ其本トカリマスル所ノ資金ノ融通ヲ圓滑ニスル、是ガ土臺オアルト考へ、ヘルノデアリマス、不動產擔保ノ、今日、金額ハ只今渡邊司海大臣ノ御述ベニカリマシタヤウニ、六十二億圓ヲ數スル次第アリマス、ソニテ農村ノ不動產ノ負債ハドノ位アルカト見マスレバ、大約此中ノ六割位ニ及ブアラヌト思ヒテス、而モテ今日農村ノ負債ハ政府ノ御提出ニナシテ居マスル所ノ調書ニ依リマスレバ、約ノ四十億乃至五十億ナリト記載セタシテアリマス、兎も角也是ハ我ニハ五十億圓アルト、斯ノ者ヘアルノアリマス、斯ノ如クハ政府ノ御關係アリマス、今日モテ我國ニ缺陷トナツテ居リマシタノアリマス、故ニ不動產證券化ニ付テアリマス、是等ノ制度ヲ十分ニ參照シテ效果アル制度ヲ立て、而シガ永久ニ御譲ベニ依レバ、繼額十一億五千万圓加イタシム居ル場合ニシテ、農村ニ於キマシテハ昨年ノ收額不足、即チ金鑑上ノ收納シタル額ノ減少シタル所、是が農林省ノ御講ベニ依レバ、繼額十一億五千万圓ト推計セラル、ト云フノアリマス、勿論此物價ノ下落其他ニ依リマス、農村ニ於ケル生活其他ノ經費、ソレガ四億若クハ五億ト云フモノガ減少シテ居ルアリマセウ、是ハ申不動產證券化ト云フモノハ、農村ノ收入ガ昨年ケ間ニ於テ、前年度ニ比較シテ減少不タル商取引ノ範圍ニ於テハ不渡手形ガ増加シ、斯ニ於テ不動產ノ證券化ト云フコトハ、是ハ必要ナルコトトナシテ居ルノアリマス、是ガ不動產證券化ニ付キマシテ、今日ノ財界

ニ於テ必要ナリト考ヘルヨリモ、我國ノ金融關係ニ於ケル信用……は對人信用ト云テアルカ、斯レバ、第一ニ本案ヲ法律上カテ觀察シテ見マスルト、有價證券トシテノ實ノ價が内ニ於ケル不渡手形ノ數ハ九千五百五十八枚ヲ數スル状況アリスルコトハ、以テ如何ニ我方財界ノ對人信用ガ惡タアルト云フユトテ推知スルニ足ムノアリマス、全曰誠ニ金融難ノ時代アリマス、產業ノ發達ハ、何トシテモ其本トカリマスル所ノ資金ノ融通ヲ圓滑ニスル、是ガ土臺オアルト考へ、ヘルノデアリマス、不動產擔保ノ、今日、金額ハ只今渡邊司海大臣ノ御述ベニカリマシタヤウニ、六十二億圓ヲ數スル次第アリマス、ソニテ農村ノ不動產ノ負債ハドノ位アルカト見マスレバ、大約此中ノ六割位ニ及ブアラヌト思ヒテス、而モテ今日農村ノ負債ハ政府ノ御提出ニナシテ居マスル所ノ調書ニ依リマスレバ、約ノ四十億乃至五十億ナリト記載セタシテアリマス、兎も角也是ハ我ニハ五十億圓アルト、斯ノ者ヘアルノアリマス、斯ノ如クハ政府ノ御關係アリマス、今日モテ我國ニ缺陷トナツテ居リマシタノアリマス、故ニ不動產證券化ニ付テアリマス、是等ノ制度ヲ十分ニ參照シテ效果アル制度ヲ立て、而シガ永久ニ御譲ベニ依レバ、繼額十一億五千万圓加イタシム居ル場合ニシテ、農村ニ於キマシテハ昨年ノ收額不足、即チ金鑑上ノ收納シタル額ノ減少シタル所、是が農林省ノ御講ベニ依レバ、繼額十一億五千万圓ト云フノアリマス、勿論此物價ノ下落其他ニ依リマス、農村ニ於ケル生活其他ノ經費、ソレガ四億若クハ五億ト云フモノガ減少シテ居ルアリマセウ、是ハ申不動產證券化ト云フモノハ、農村ノ收入ガ昨年ケ間ニ於テ、前年度ニ比較シテ減少不タル商取引ノ範圍ニ於テハ不渡手形ガ増加シ、斯ニ於テ不動產ノ證券化ト云フコトハ、是ハ必要ナルコトトナシテ居ルノアリマス、是ガ不動產證券化ニ付キマシテ、今日ノ財界

ス、何ガ然ラバ不完全デアルカ、斯ウ申シマスレバ、第一ニ本案ヲ法律上カテ觀察シテ見マスルト、有價證券トシテノ實ノ價が内ニ於ケル不渡手形ノ數ハ九千五百五十八枚ヲ數スルコトハ、以テ如何ニ我方財界ノ對人信用ガ惡タアルト云フユトテ推知スルニ足ムノアリマス、全曰誠ニ金融難ノ時代アリマス、產業ノ發達ハ、何トシテモ其本トカリマスル所ノ資金ノ融通ヲ圓滑ニスル、是ガ土臺オアルト考へ、ヘルノデアリマス、不動產擔保ノ、今日、金額ハ只今渡邊司海大臣ノ御述ベニカリマシタヤウニ、六十二億圓ヲ數スル次第アリマス、ソニテ農村ノ不動產ノ負債ハドノ位アルカト見マスレバ、大約此中ノ六割位ニ及ブアラヌト思ヒテス、而モテ今日農村ノ負債ハ政府ノ御提出ニナシテ居マスル所ノ調書ニ依リマスレバ、約ノ四十億乃至五十億ナリト記載セタシテアリマス、兎も角也是ハ我ニハ五十億圓アルト、斯ノ者ヘアルノアリマス、斯ノ如クハ政府ノ御關係アリマス、今日モテ我國ニ缺陷トナツテ居リマシタノアリマス、故ニ不動產證券化ニ付テアリマス、是等ノ制度ヲ十分ニ參照シテ效果アル制度ヲ立て、而シガ永久ニ御譲ベニ依レバ、繼額十一億五千万圓加イタシム居ル場合ニシテ、農村ニ於キマシテハ昨年ノ收額不足、即チ金鑑上ノ收納シタル額ノ減少シタル所、是が農林省ノ御講ベニ依レバ、繼額十一億五千万圓ト云フノアリマス、勿論此物價ノ下落其他ニ依リマス、農村ニ於ケル生活其他ノ經費、ソレガ四億若クハ五億ト云フモノガ減少シテ居ルアリマセウ、是ハ申不動產證券化ト云フモノハ、農村ノ收入ガ昨年ケ間ニ於テ、前年度ニ比較シテ減少不タル商取引ノ範圍ニ於テハ不渡手形ガ増加シ、斯ニ於テ不動產ノ證券化ト云フコトハ、是ハ必要ナルコトトナシテ居ルノアリマス、是ガ不動產證券化ニ付キマシテ、今日ノ財界

移轉モ當事者ノ意思ノ表示ニ依フテ、意思ガ合致イタシマスルト云フト、茲ニ所有權ヲ移轉シ抵當權ハ成立スルノデアリマス、ソレ故ニ所有者ガ假ニ第一ノ人ト所有權移轉ノ契約ヲシマスト、ソレニ所有權ハ移轉スルノデアリマス、第二ニ更ニ他人ニ契約イタシマシタ場合ニ於テハ、兩者ノ關係ハ問題ガ起キテ參リマス、所有權ハ一ツデアリマスカラ、兩人ニ移轉スルコトノ出來ナキマシテ「不動產ニ關スル物權ノ得喪及ヒコトハ當然デアリマス、茲ニ於テ何人ガ所有權者デアルヤト云フ問題ヲ生ズルノデアリマス、ソコデ我ガ民法ハ第百七十七條ニ於キマシテ「不動產ニ關スル物權ノ得喪及ヒ變更ハ登記法ノ定ムル所ニ從ヒ其登記ヲ爲ハ意思表示ニ依フテ完全ニ成立シテ來ルノデアリマス、茲ニ於テ右例示イタシマシタル抗條件ニ過ギナイノデアリマス、權利關係場合ヲ採テ申シマスレバ、先ニ契約イタシタル所有權若クハ抵當權ノ移轉ヲ致シタ場合ニ於テ、第二ニ約束シタ人ノ方ガ先ニ登記ヲ致シマスレバ、第二ノ登記ヲ爲シタ者ガ權利者トナルノデアリマス、此事ガ獨逸ノ法制トハ全ク異ナル所デアリマス、此結果ハ先ニ申上ゲマシタヤウナ結論ニ到達スルノデアリマス、獨逸ノ制度ニ於キマシテハ當事者ガ茲ニ約束ヲ致シマス、所有權ノ移轉乃至ハ抵當權ノ設定ノ約束ヲ致シマス、其合意、即チ物權契約ニ依リマシテ、一應權利關係が成立ツベキ準備ハ成立スルモノガ確定サレルノデアリマス、即チ登記ハ權利關係ヲ確定スル效力ヲ有ツノデアリマス、我國ノ登記ハ單ニ第三者ニ對抗スル、即チ行使ノ方法ニ過ギナイノデアリマス、所有權ヲ證明シ、確定スル所ノ力ヲ有タヌノデアリマス、此差異ガ非常ニ重大

登記簿ニ於キマスル所ノ權利ヲ讓渡ヲ受ケタル不動產ニ付テノ權利關係ハ茲ニ確定イタシマス、何人モ之ヲ争フコトハ出來得ナキ状況ニ置カレマスルノデアリマス、故ニタシマシタ場合ニ於テハ、兩者ノ關係ハ問題ガ起キテ參リマス、所有權ハ一ツデアリマスカラ、兩人ニ移轉スルコトノ出來ナキマシテ「不動產ニ關スル物權ノ得喪及ヒコトハ當然デアリマス、茲ニ於テ何人ガ所有權者デアルヤト云フ問題ヲ生ズルノデアリマス、ソコデ我ガ民法ハ第百七十七條ニ於キマシテ「不動產ニ關スル物權ノ得喪及ヒ變更ハ登記法ノ定ムル所ニ從ヒ其登記ヲ爲ハ意思表示ニ依フテ完全ニ成立シテ來ルノデアリマス、茲ニ於テ右例示イタシマシタル抗條件ニ過ギナイノデアリマス、權利關係場合ヲ採テ申シマスレバ、先ニ契約イタシタル所有權若クハ抵當權ノ移轉ヲ致シタ場合ニ於テ、第二ニ約束シタ人ノ方ガ先ニ登記ヲ致シマスレバ、第二ノ登記ヲ爲シタ者ガ權利者トナルノデアリマス、此事ガ獨逸ノ法制トハ全ク異ナル所デアリマス、此結果ハ先ニ申上ゲマシタヤウナ結論ニ到達スルノデアリマス、獨逸ノ制度ニ於キマシテハ當事者ガ茲ニ約束ヲ致シマス、所有權ノ移轉乃至ハ抵當權ノ設定ノ約束ヲ致シマス、其合意、即チ物權契約ニ依リマシテ、一應權利關係が成立ツベキ準備ハ成立スルモノガ確定サレルノデアリマス、即チ登記ハ權利關係ヲ確定スル效力ヲ有ツノデアリマス、所有權ヲ證明シ、確定スル所ノ力ヲ有タヌノデアリマス、此差異ガ非常ニ重大

登記簿ニ於キマスル所ノ權利ヲ讓渡ヲ受ケタル不動產ニ付テノ權利關係ハ茲ニ確定イタシマス、何人モ之ヲ争フコトハ出來得ナキ状況ニ置カレマスルノデアリマス、故ニタシマシタ場合ニ於テハ、兩者ノ關係ハ問題ガ起キテ參リマス、所有權ハ一ツデアリマスカラ、兩人ニ移轉スルコトノ出來ナキマシテ「不動產ニ關スル物權ノ得喪及ヒコトハ當然デアリマス、茲ニ於テ何人ガ所有權者デアルヤト云フ問題ヲ生ズルノデアリマス、ソコデ我ガ民法ハ第百七十七條ニ於キマシテ「不動產ニ關スル物權ノ得喪及ヒ變更ハ登記法ノ定ムル所ニ從ヒ其登記ヲ爲ハ意思表示ニ依フテ完全ニ成立シテ來ルノデアリマス、茲ニ於テ右例示イタシマシタル抗條件ニ過ギナイノデアリマス、權利關係場合ヲ採テ申シマスレバ、先ニ契約イタシタル所有權若クハ抵當權ノ移轉ヲ致シタ場合ニ於テ、第二ニ約束シタ人ノ方ガ先ニ登記ヲ致シマスレバ、第二ノ登記ヲ爲シタ者ガ權利者トナルノデアリマス、此事ガ獨逸ノ法制トハ全ク異ナル所デアリマス、此結果ハ先ニ申上ゲマシタヤウナ結論ニ到達スルノデアリマス、獨逸ノ制度ニ於キマシテハ當事者ガ茲ニ約束ヲ致シマス、所有權ノ移轉乃至ハ抵當權ノ設定ノ約束ヲ致シマス、其合意、即チ物權契約ニ依リマシテ、一應權利關係が成立ツベキ準備ハ成立スルモノガ確定サレルノデアリマス、即チ登記ハ權利關係ヲ確定スル效力ヲ有ツノデアリマス、所有權ヲ證明シ、確定スル所ノ力ヲ有タヌノデアリマス、此差異ガ非常ニ重大

登記簿ニ於キマスル所ノ權利ヲ讓渡ヲ受ケタル不動產ニ付テノ權利關係ハ茲ニ確定イタシマス、何人モ之ヲ争フコトハ出來得ナキ状況ニ置カレマスルノデアリマス、故ニタシマシタ場合ニ於テハ、兩者ノ關係ハ問題ガ起キテ參リマス、所有權ハ一ツデアリマスカラ、兩人ニ移轉スルコトノ出來ナキマシテ「不動產ニ關スル物權ノ得喪及ヒコトハ當然デアリマス、茲ニ於テ何人ガ所有權者デアルヤト云フ問題ヲ生ズルノデアリマス、ソコデ我ガ民法ハ第百七十七條ニ於キマシテ「不動產ニ關スル物權ノ得喪及ヒ變更ハ登記法ノ定ムル所ニ從ヒ其登記ヲ爲ハ意思表示ニ依フテ完全ニ成立シテ來ルノデアリマス、茲ニ於テ右例示イタシマシタル抗條件ニ過ギナイノデアリマス、權利關係場合ヲ採テ申シマスレバ、先ニ契約イタシタル所有權若クハ抵當權ノ移轉ヲ致シタ場合ニ於テ、第二ニ約束シタ人ノ方ガ先ニ登記ヲ致シマスレバ、第二ノ登記ヲ爲シタ者ガ權利者トナルノデアリマス、此事ガ獨逸ノ法制トハ全ク異ナル所デアリマス、此結果ハ先ニ申上ゲマシタヤウナ結論ニ到達スルノデアリマス、獨逸ノ制度ニ於キマシテハ當事者ガ茲ニ約束ヲ致シマス、所有權ノ移轉乃至ハ抵當權ノ設定ノ約束ヲ致シマス、其合意、即チ物權契約ニ依リマシテ、一應權利關係が成立ツベキ準備ハ成立スルモノガ確定サレルノデアリマス、即チ登記ハ權利關係ヲ確定スル效力ヲ有ツノデアリマス、所有權ヲ證明シ、確定スル所ノ力ヲ有タヌノデアリマス、此差異ガ非常ニ重大

ガ作り得ルノデアリマス、斯様ナ次第デ有價證券トシテ流通シ置カレマシタモノガ一且債務者ガ支拂ヲ致シマセヌ場合ニ於テハ誠ニ煩瑣ナ手續ニ陷ルノデアリマス、ソコデ私ハ此立案ノ上ニ於テ法律關係トシテ、今一つ附ケ加ヘテ申シタイノデアリマス、所謂讓渡スルコトニ付テノ裏書ノ制度デアリマス、手形ノ如ク裏書ニ依ツテ移轉イタシマス、ソコデ裏書人ハ裏書ノ責任ヲ持チマシテ、所有權者ガ支拂ハナカツタ場合ニ於テハ、裏書人デアル其人ガ後者ニ對シテ義務ヲ負ウテ、拂ッテ行カナクチヤナラヌコトニナッテ居リマス、是ハ有價證券ト云フモノノ價值ヲ強メマスル程度ニ於テハ、政府ノ立案者ノ御苦心ノアツ所デアリマス、銀行ガ裏書ヲ致シタト云フ場合ニハ殊ニ、例へバ日本勸業銀行ガ裏書ヲ致シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、是ハ十分ナ信用ガ置ケルノデアリマス、併シ是ハ不動産ガ證券化シタニ非ズシテ、單ニ債權其モノガ證券化シタニ過ギマセヌ、今一つ申セバ勸業銀行ノ信用ガ證券化シタニ過ギナノデアリマス、然ラバ、勸業銀行、農工銀行、北拓銀行ト云フモノ、如キハ、債券ヲ發行スルコトガ出來ルノデアリマスカラシテ、自己ノ信用ヲ以テ證券ヲ流通セシメルト云フノデアリマス、ナラバ、債券ヲ發行シテ資金ヲ廣ク募レバソレデ事ガ足テ居ルノデアリマス、斯様ナ次第デ法律ノ基礎ニ於キマシテ、私ハ甚ダ疑義ヲ持テ居ルノデアリマス、即チ有價證券ニ非ズシテ、時ニ依テハ無價證券デアルト云フ場合ガアルト云フコトハ、私ノ最モ心配ニ堪ヘヌ一點デアリマス、次ニ此經濟上カラ見マシタル所ノ缺陷デアリマス、曩ニ申上ゲマシタ如ク、我國ノ經濟界ハ今日金融難ニ惱シテ居ルノデアリマス、之ヲ救濟スルト云フ措置ヲ御取リニナツタト致シマスルナラバ、法案ニ或ル缺點ガアリマシテモ、是ハ拙速主義、速カニ之ヲ制定シテ實行スル必要アリト、其必要論カラシテ

論理ノ不都合ナル所、合理的ナラザル所ヲ。必要論カラ補フコトガ出來ルト思フノデアリマス、然ルニ必要論ハ如何ニナツテ居リマス、煩瑣ナ手續ニ陷ルノデアリマス、ソコデ私ハ此立案ノ上ニ於テ法律關係トシテ、今一つ附ケ加ヘテ申シタイノデアリマス、所謂讓渡スルコトニ付テノ裏書ノ制度デアリマス、ソコデ裏書人ハ裏書ノ責任ヲ持チマシテ、所有權者ガ支拂ハナカツタ場合ニ於テハ、裏書人デアル其人ガ後者ニ對シテ義務ヲ負ウテ、拂ッテ行カナクチヤナラヌコトニナッテ居リマス、是ハ有價證券ト云フモノノ價值ヲ強メマスル程度ニ於テハ、政府ノ立案者ノ御苦心ノアツ所デアリマス、銀行ガ裏書ヲ致シタト云フ場合ニハ殊ニ、例へバ日本勸業銀行ガ裏書ヲ致シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、是ハ十分ナ信用ガ置ケルノデアリマス、併シ是ハ不動産ガ證券化シタニ非ズシテ、單ニ債權其モノガ證券化シタニ過ギマセヌ、今一つ申セバ勸業銀行ノ信用ガ證券化シタニ過ギナノデアリマス、然ラバ、農工銀行、北拓銀行、是方主ニ恐ラク此制度ニ其必要アリト云フコトガ申サレルノデアリマス、然ルニ是ハ都會ノ事柄ニ過ギマセヌ、今直接關係ガアリマスルナラバ、即チ今段々當議場ニ於テ、政府デモ、各質問者ニ於テモ、茲ニ質問應答方交換セラレタノデアリマス、故ニ五十億ノ債務ヲ整理スルコトニ直接關係ガアリマスルナラバ、即チ今段々當議場ニ於テ、政府デモ、各質問者ニ於テモ、茲ニ質問應答方交換セラレタノデアリマス、然ルニ是ハ都會ノ事柄ニ過ギマセヌ、今一つ申セバ勸業銀行ノ信用ガ證券化シタニ過ギナノデアリマス、然ラバ、債券ヲ流通セシメルト云フノデアリマス、ナラバ、債券ヲ發行シテ資金ヲ廣ク募レバソレデ事ガ足テ居ルノデアリマス、斯様ナ次第デ法律ノ基礎ニ於キマシテ、私ハ甚ダ疑義ヲ持テ居ルノデアリマス、即チ有價證券ニ非ズシテ、時ニ依テハ無價證券デアルト云フ場合ガアルト云フコトハ、私ノ最モ心配ニ堪ヘヌ一點デアリマス、次ニ此經濟上カラ見マシタル所ノ缺陷デアリマス、曩ニ申上ゲマシタ如ク、我國ノ經濟界ハ今日金融難ニ惱シテ居ルノデアリマス、之ヲ救濟スルト云フ措置ヲ御取リニナツタト致シマスルナラバ、法案ニ或ル缺點ガアリマシテモ、是ハ拙速主義、速カニ之ヲ制定シテ實行スル必要アリト、其必要論カラシテ

論理ノ不都合ナル所、合理的ナラザル所ヲ。必要論カラ補フコトガ出來ルト思フノデアリマス、然ルニ必要論ハ如何ニナツテ居リマス、煩瑣ナ手續ニ陷ルノデアリマス、ソコデ私ハ此立案ノ上ニ於テ法律關係トシテ、今一つ附ケ加ヘテ申シタイノデアリマス、所謂讓渡スルコトニ付テノ裏書ノ制度デアリマス、ソコデ裏書人ハ裏書ノ責任ヲ持チマシテ、所有權者ガ支拂ハナカツタ場合ニ於テハ、裏書人デアル其人ガ後者ニ對シテ義務ヲ負ウテ、拂ッテ行カナクチヤナラヌコトニナッテ居リマス、是ハ有價證券ト云フモノノ價值ヲ強メマスル程度ニ於テハ、政府ノ立案者ノ御苦心ノアツ所デアリマス、銀行ガ裏書ヲ致シタト云フ場合ニハ殊ニ、例へバ日本勸業銀行ガ裏書ヲ致シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、是ハ十分ナ信用ガ置ケルノデアリマス、併シ是ハ不動産ガ證券化シタニ非ズシテ、單ニ債權其モノガ證券化シタニ過ギマセヌ、今一つ申セバ勸業銀行ノ信用ガ證券化シタニ過ギナノデアリマス、然ラバ、債券ヲ流通セシメルト云フノデアリマス、ナラバ、債券ヲ發行シテ資金ヲ廣ク募レバソレデ事ガ足テ居ルノデアリマス、斯様ナ次第デ法律ノ基礎ニ於キマシテ、私ハ甚ダ疑義ヲ持テ居ルノデアリマス、即チ有價證券ニ非ズシテ、時ニ依テハ無價證券デアルト云フ場合ガアルト云フコトハ、私ノ最モ心配ニ堪ヘヌ一點デアリマス、次ニ此經濟上カラ見マシタル所ノ缺陷デアリマス、曩ニ申上ゲマシタ如ク、我國ノ經濟界ハ今日金融難ニ惱シテ居ルノデアリマス、之ヲ救濟スルト云フ措置ヲ御取リニナツタト致シマスルナラバ、法案ニ或ル缺點ガアリマシテモ、是ハ拙速主義、速カニ之ヲ制定シテ實行スル必要アリト、其必要論カラシテ

論理ノ不都合ナル所、合理的ナラザル所ヲ。必要論カラ補フコトガ出來ルト思フノデアリマス、然ルニ必要論ハ如何ニナツテ居リマス、煩瑣ナ手續ニ陷ルノデアリマス、ソコデ私ハ此立案ノ上ニ於テ法律關係トシテ、今一つ附ケ加ヘテ申シタイノデアリマス、所謂讓渡スルコトニ付テノ裏書ノ制度デアリマス、ソコデ裏書人ハ裏書ノ責任ヲ持チマシテ、所有權者ガ支拂ハナカツタ場合ニ於テハ、裏書人デアル其人ガ後者ニ對シテ義務ヲ負ウテ、拂ッテ行カナクチヤナラヌコトニナッテ居リマス、是ハ有價證券ト云フモノノ價值ヲ強メマスル程度ニ於テハ、政府ノ立案者ノ御苦心ノアツ所デアリマス、銀行ガ裏書ヲ致シタト云フ場合ニハ殊ニ、例へバ日本勸業銀行ガ裏書ヲ致シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、是ハ十分ナ信用ガ置ケルノデアリマス、併シ是ハ不動産ガ證券化シタニ非ズシテ、單ニ債權其モノガ證券化シタニ過ギマセヌ、今一つ申セバ勸業銀行ノ信用ガ證券化シタニ過ギナノデアリマス、然ラバ、債券ヲ流通セシメルト云フノデアリマス、ナラバ、債券ヲ發行シテ資金ヲ廣ク募レバソレデ事ガ足テ居ルノデアリマス、斯様ナ次第デ法律ノ基礎ニ於キマシテ、私ハ甚ダ疑義ヲ持テ居ルノデアリマス、即チ有價證券ニ非ズシテ、時ニ依テハ無價證券デアルト云フ場合ガアルト云フコトハ、私ノ最モ心配ニ堪ヘヌ一點デアリマス、次ニ此經濟上カラ見マシタル所ノ缺陷デアリマス、曩ニ申上ゲマシタ如ク、我國ノ經濟界ハ今日金融難ニ惱シテ居ルノデアリマス、之ヲ救濟スルト云フ措置ヲ御取リニナツタト致シマスルナラバ、法案ニ或ル缺點ガアリマシテモ、是ハ拙速主義、速カニ之ヲ制定シテ實行スル必要アリト、其必要論カラシテ

論理ノ不都合ナル所、合理的ナラザル所ヲ。必要論カラ補フコトガ出來ルト思フノデアリマス、然ルニ必要論ハ如何ニナツテ居リマス、煩瑣ナ手續ニ陷ルノデアリマス、ソコデ私ハ此立案ノ上ニ於テ法律關係トシテ、今一つ附ケ加ヘテ申シタイノデアリマス、所謂讓渡スルコトニ付テノ裏書ノ制度デアリマス、ソコデ裏書人ハ裏書ノ責任ヲ持チマシテ、所有權者ガ支拂ハナカツタ場合ニ於テハ、裏書人デアル其人ガ後者ニ對シテ義務ヲ負ウテ、拂ッテ行カナクチヤナラヌコトニナッテ居リマス、是ハ有價證券ト云フモノノ價值ヲ強メマスル程度ニ於テハ、政府ノ立案者ノ御苦心ノアツ所デアリマス、銀行ガ裏書ヲ致シタト云フ場合ニハ殊ニ、例へバ日本勸業銀行ガ裏書ヲ致シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、是ハ十分ナ信用ガ置ケルノデアリマス、併シ是ハ不動産ガ證券化シタニ非ズシテ、單ニ債權其モノガ證券化シタニ過ギマセヌ、今一つ申セバ勸業銀行ノ信用ガ證券化シタニ過ギナノデアリマス、然ラバ、債券ヲ流通セシメルト云フノデアリマス、ナラバ、債券ヲ發行シテ資金ヲ廣ク募レバソレデ事ガ足テ居ルノデアリマス、斯様ナ次第デ法律ノ基礎ニ於キマシテ、私ハ甚ダ疑義ヲ持テ居ルノデアリマス、即チ有價證券ニ非ズシテ、時ニ依テハ無價證券デアルト云フ場合ガアルト云フコトハ、私ノ最モ心配ニ堪ヘヌ一點デアリマス、次ニ此經濟上カラ見マシタル所ノ缺陷デアリマス、曩ニ申上ゲマシタ如ク、我國ノ經濟界ハ今日金融難ニ惱シテ居ルノデアリマス、之ヲ救濟スルト云フ措置ヲ御取リニナツタト致シマスルナラバ、法案ニ或ル缺點ガアリマシテモ、是ハ拙速主義、速カニ之ヲ制定シテ實行スル必要アリト、其必要論カラシテ







から尙ほ小兒保險マデヤツラバ餘程サウ云フコトモ多イデアラウト思フカラ、之ヲヤル場合ニハ政府デモ斯クスクナ道ヲ講ジテ其弊ノナイヤウニスルケレドモ、尙ほ地方モ注意シテ貴ヒタ、地方ニ限ラス、東京デモ注意シテ貴ヒタ、サウ云フヤウナ場合ニハ直チニ遞信局トカ遞信省トカヘ通知シテ貴ヒタイト、斯ウ仰シヤルデアラウト今日ハ期待シテ居タ所ガ、何等之ニ對スルノ話ハ無カタ、過日私ガ質問ヲシタ場合コトハ茲ニ速記録ヲ持テ居リマスカラ、讀メト仰シヤリヤ、チャントヲ私ハ朱ヲ付ケテ持テ居ル、ソレハ甚ダ私ハ朱ヲ付思フ、當局テ屢、之ニ戒飭シテ居ルト云フ、程ニ分テ居リナガラ、何等之ニ對スル唯戒飭タケ、戒飭ハドウ云フコトヲナサルノアルカ、ソレモ私ハ承テ見タイ、下ウ云フヤリ方デ戒飭ヲナサルカ、斯ウ云フ弊害ハ日々多數ナ者ニアルノデスカラ、現ニ私ガ、私家ノ子供一人二人入レテ居リマスサソウデス、私ノ留守ニソレハ家族ガ入レタ、ソンナコトヲシナクテモ宜カタト私ハ申シタラ、何分ヤカマシク言ハレルカラ、トウモ氣味ガ悪イカラ宜シウゴザイマスト言役人デアルカラ、唯竹筍返シガ恐ロシイカレマシク、斯ウ言シテ居ル、之ヲ以テ知ルベシ、何テモ出來得ルコトナラ忍シテハイト言、テヤンテ置カウ、斯ウナル、ソレ故ニ私ハ大變ナ是ハ弊害ノアルモノデアル、斯ウ思フノデアル、第二ノ弊害トシテハ御承知ノ如ク保險業ハ大變我國デハ發達シテ居ル、民間テ之ヲ一ツスウ云フモノヤテはドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂナ、ソレ故ニ二政府デモ斯ウ云フ計画ヲシタ、斯ウ仰シヤルナラ是モ多少道理ガアル、ハドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコトデアルガ、此趣意ハドヨニアルカ、惟政府ニモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂ、斯ウ仰シヤルナラ是モ多少道理ガアル、ハドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂ、斯ウ仰シヤルナラ是モ多少道理ガアル、ハドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂ、斯ウ仰シヤルナラ是モ多少道理ガアル、ハドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂ、斯ウ仰シヤルナラ是モ多少道理ガアル、ハドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂ、斯ウ仰シヤルナラ是モ多少道理ガアル、ハドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂ、ス集外金即子積立金、トウセラモノニ貸シ、ソレゾレ貸付ヲルヤウナコトデアルガ、此趣意ハ成タケ利益ノアルヤウニ致シマス、大イニ失望シタノダ、國家ノ仕事ト云フモ

ノハ自分ガ利益ヲスルガ爲ニ、固ヨリ政府デ經營スル仕事トシテモ、民營ニ委シテ然ヤルベキモノヲ政府ガ進ンデスルノデアルカラ、營利事業ニハ達ヒナラウト云フニ、ラ、營利事業ニハ資本ガ餘程要ルゾ、資本ガ要ル以上ハ是ノトハ茲ニ速記録ヲ持テ居リマスカラ、讀メト仰シヤリヤ、チャントヲ私ハ朱ヲ付ケテ持テ居ル、ソレハ甚ダ私ハ朱ヲ付思フ、當局テ屢、之ニ戒飭シテ居ルト云フ、程ニ分テ居リナガラ、何等之ニ對スル唯戒飭タケ、戒飭ハドウ云フコトヲナサルノアルカ、ソレモ私ハ承テ見タイ、下ウ云フヤリ方デ戒飭ヲナサルカ、斯ウ云フ弊害ハ日々多數ナ者ニアルノデスカラ、現ニ私ガ、私家ノ子供一人二人入レテ居リマスサソウデス、私ノ留守ニソレハ家族ガ入レタ、ソンナコトヲシナクテモ宜カタト私ハ申シタラ、何分ヤカマシク言ハレルカラ、トウモ氣味ガ悪イカラ宜シウゴザイマスト言役人デアルカラ、唯竹筍返シガ恐ロシイカレマシク、斯ウ言シテ居ル、之ヲ以テ知ルベシ、何テモ出來得ルコトナラ忍シテハイト言、テヤンテ置カウ、斯ウナル、ソレ故ニ私ハ大變ナ是ハ弊害ノアルモノデアル、斯ウ思フノデアル、第二ノ弊害トシテハ御承知ノ如ク保險業ハ大變我國デハ發達シテ居ル、民間テ之ヲ一ツスウ云フモノヤテはドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂナ、ソレ故ニ二政府デモ斯ウ云フ計画ヲシタ、斯ウ仰シヤルナラ是モ多少道理ガアル、ハドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂ、斯ウ仰シヤルナラ是モ多少道理ガアル、ハドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂ、斯ウ仰シヤルナラ是モ多少道理ガアル、ハドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂ、ス集外金即子積立金、トウセラモノニ貸シ、ソレゾレ貸付ヲルヤウナコトデアルガ、此趣意ハ成タケ利益ノアルヤウニ致シマス、大イニ失望シタノダ、國家ノ仕事ト云フモ

ノハ自分ガ利益ヲスルガ爲ニ、固ヨリ政府デ經營スル仕事トシテモ、民營ニ委シテ然ヤルベキモノヲ政府ガ進ンデスルノデアルカラ、營利事業ニハ達ヒナラウト云フニ、ラ、營利事業ニハ資本ガ餘程要ルゾ、資本ガ要ル以上ハ是ノトハ茲ニ速記録ヲ持テ居リマスカラ、讀メト仰シヤリヤ、チャントヲ私ハ朱ヲ付ケテ持テ居ル、ソレハ甚ダ私ハ朱ヲ付思フ、當局テ屢、之ニ戒飭シテ居ルト云フ、程ニ分テ居リナガラ、何等之ニ對スル唯戒飭タケ、戒飭ハドウ云フコトヲナサルノアルカ、ソレモ私ハ承テ見タイ、下ウ云フヤリ方デ戒飭ヲナサルカ、斯ウ云フ弊害ハ日々多數ナ者ニアルノデスカラ、現ニ私ガ、私家ノ子供一人二人入レテ居リマスサソウデス、私ノ留守ニソレハ家族ガ入レタ、ソンナコトヲシナクテモ宜カタト私ハ申シタラ、何分ヤカマシク言ハレルカラ、トウモ氣味ガ悪イカラ宜シウゴザイマスト言役人デアルカラ、唯竹筍返シガ恐ロシイカレマシク、斯ウ言シテ居ル、之ヲ以テ知ルベシ、何テモ出來得ルコトナラ忍シテハイト言、テヤンテ置カウ、斯ウナル、ソレ故ニ私ハ大變ナ是ハ弊害ノアルモノデアル、斯ウ思フノデアル、第二ノ弊害トシテハ御承知ノ如ク保險業ハ大變我國デハ發達シテ居ル、民間テ之ヲ一ツスウ云フモノヤテはドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂナ、ソレ故ニ二政府デモ斯ウ云フ計画ヲシタ、斯ウ仰シヤルナラ是モ多少道理ガアル、ハドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂ、ス集外金即子積立金、トウセラモノニ貸シ、ソレゾレ貸付ヲルヤウナコトデアルガ、此趣意ハ成タケ利益ノアルヤウニ致シマス、大イニ失望シタノダ、國家ノ仕事ト云フモ

ノハ自分ガ利益ヲスルガ爲ニ、固ヨリ政府デ經營スル仕事トシテモ、民營ニ委シテ然ヤルベキモノヲ政府ガ進ンデスルノデアルカラ、營利事業ニハ達ヒナラウト云フニ、ラ、營利事業ニハ資本ガ餘程要ルゾ、資本ガ要ル以上ハ是ノトハ茲ニ速記録ヲ持テ居リマスカラ、讀メト仰シヤリヤ、チャントヲ私ハ朱ヲ付ケテ持テ居ル、ソレハ甚ダ私ハ朱ヲ付思フ、當局テ屢、之ニ戒飭シテ居ルト云フ、程ニ分テ居リナガラ、何等之ニ對スル唯戒飭タケ、戒飭ハドウ云フコトヲナサルノアルカ、ソレモ私ハ承テ見タイ、下ウ云フヤリ方デ戒飭ヲナサルカ、斯ウ云フ弊害ハ日々多數ナ者ニアルノデスカラ、現ニ私ガ、私家ノ子供一人二人入レテ居リマスサソウデス、私ノ留守ニソレハ家族ガ入レタ、ソンナコトヲシナクテモ宜カタト私ハ申シタラ、何分ヤカマシク言ハレルカラ、トウモ氣味ガ悪イカラ宜シウゴザイマスト言役人デアルカラ、唯竹筍返シガ恐ロシイカレマシク、斯ウ言シテ居ル、之ヲ以テ知ルベシ、何テモ出來得ルコトナラ忍シテハイト言、テヤンテ置カウ、斯ウナル、ソレ故ニ私ハ大變ナ是ハ弊害ノアルモノデアル、斯ウ思フノデアル、第二ノ弊害トシテハ御承知ノ如ク保險業ハ大變我國デハ發達シテ居ル、民間テ之ヲ一ツスウ云フモノヤテはドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂナ、ソレ故ニ二政府デモ斯ウ云フ計画ヲシタ、斯ウ仰シヤルナラ是モ多少道理ガアル、ハドウカ、ヤランカイト云フノデ、御勸めニナトル云フコトナラ誠ニ結構ナコト、ドウシテモ民間デモ勸メテヤラシモ宜シイヂ、ス集外金即子積立金、トウセラモノニ貸シ、ソレゾレ貸付ヲルヤウナコトデアルガ、此趣意ハ成タケ利益ノアルヤウニ致シマス、大イニ失望シタノダ、國家ノ仕事ト云フモ

